

# SAMOA

サモアガイドブック



## 刊行にあたって

サモア独立国は西欧文明に染まることなく過去の伝統的文化と「サモア風」(Fa'a Samoa)の生活を持ち続けている国として、観光客を魅了します。政府も観光開発に力を入れていますが、残念ながら日本からの訪問者数は未だにごく少数です。

本ガイドブックではサモア独立国に関する観光情報を出来るだけ詳しく取りまとめました。また、同国を広く理解していただくため、観光情報以外にも歴史、産業、社会等についても簡潔に紹介しています。

本ガイドブックが同国を訪問する際の参考となり、さらに理解を深めていただくための一助となれば幸甚です。

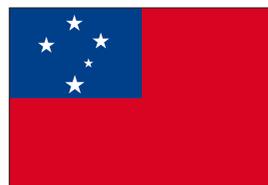
作成にあたり、多大なるご協力いただいたパシフィックインターナショナル社の大石勘太郎・香織夫妻、サモア観光局、在サモア日本国大使館、JICAサモア支所、その他関係者の皆様に、深く感謝いたします。

2024年3月

国際機関 太平洋諸島センター

※国際機関 太平洋諸島センターは、ホームページ (<http://www.pic.or.jp>)でも情報を公開していますので、ご参照下さい。

# サモア



正式国名	サモア独立国
面積	2,935平方キロメートル（東京都の約1.3倍）
人口	222,382人（2022年、世界銀行）
首都	アピア（Apia）
民族	サモア人（ポリネシア系）92.6%、欧州・ポリネシア系7%
主要言語	サモア語、英語（共に公用語）
宗教	キリスト教（100%）（組合教会派34.8%、カトリック19.6%、メソヂスト15%）
政体	立憲君主制
1人あたりGNI	3,810米ドル（2021年、世界銀行）
通貨	サモアン・タラ（Samoan Tala）（サモア・ドルとも言う）
電話の国番号	685+（相手先番号）（市外局番はない）

## 目次

サモア独立国の概要	2
旅行者へのアドバイス	7
ウポル島と首都アピア	15
サバイ島	51
関係先リスト	64

## 国旗の由来

赤は勇気を、紺は自由を、5つの星は南十字星を表わす。

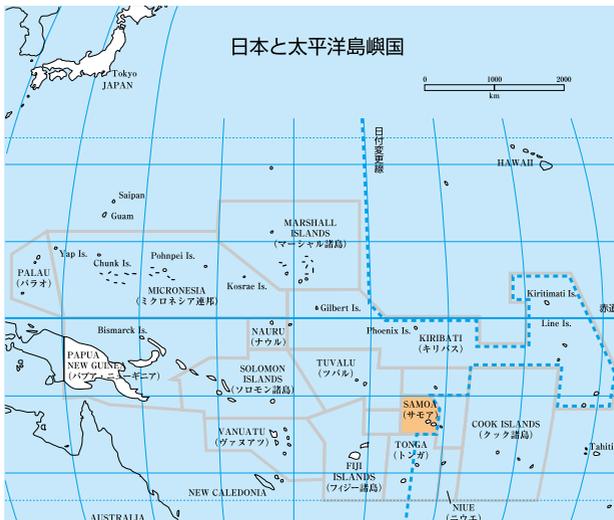
## サモア独立国の概要

赤道の南 1,200km、南太平洋の中心に位置するサモア諸島は、日付変更線のすぐ近く西経 171 度線の両側にあり、その西側のサモア独立国（以下サモア）と東側のアメリカ合衆国領サモア（以下米領サモア）に分かれている。サモアは 1962 年の独立時には西サモア独立国と呼ばれていたが、1997 年に現在の国名に変更された。

サモアは、首都アピア（Apia）のあるウポル島（Upolu）と、その東海上 15km にあるサバイイ島（Savaii）の 2 つの大きな火山島で構成されている。その 100km 東にはツツイラ島を主島とする米領サモアがある。

両サモアは、その言語、伝統・習慣は同じであるが、人々の生活態度から受ける印象には大きな違いが感じられる。米領サモアは、公的部門へのドル投入、アメリカ資本による漁業開発の結果、完全に貨幣経済社会へ移行した。また、労働人口の 3 分の 1 は米国政府の関連施設で働いている。食生活も輸入された缶詰や冷凍食品が徐々に伝統的な食事のスタイルを変化させてきている。

一方、サモアは、素朴で伝統的なポリネシアの慣習を守って生活している代表的な国である。多くの南太平洋の国が外国からの影響を受けることで独自の伝統を維持することが困難になっているが、サモアは、自給自足経済への依存度が高く、本来の伝統を最も色濃く残している国とされている。





## 立地

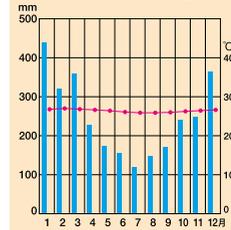
サモアは、ニュージーランドの北2,300km、ハワイの南3,700kmの南太平洋上に位置する広さ2,935km<sup>2</sup>（鳥取県より少し小さい）の島国である。東には米領サモアを挟んでクック諸島、南にトンガ王国、そして北にはニュージーランド領のトケラウ諸島が連なる。サモアは、主にサバイイ島（面積1,700km<sup>2</sup>）とウポル島（1,115km<sup>2</sup>）の2つの大きな島などで構成されている。大きな2島は18kmの海峡を挟んでいるが、その間には2つの小島、マノノ島とアポリマ島がある。サバイイ島とウポル島はともに火山島であり、サバイイ島にあるサモアの最高峰シリシリ山(Mt. Silisili)は標高が1,858mある。

## 気候

1日の気温の変化は21℃～30℃で5月から10月までが乾季、11月から4月が雨季になる。最も雨が多いのは12月から2月である。

1月の雨量は平均で500mm弱にもなり、そのほとんどは夜に降る。1年を通して湿度が高いが、4月から10月は南東の貿易風によってかなり和らげられる。

アピアの気温と降雨量



## 歴史

### ●先史時代

サモアの祖先がどこからやってきたかを明確に知ることはできないが、ウポル島には紀元前1000年頃に人々が生活していたとされている。また、サモアに残る伝説には、フィジーあるいはトンガとの深いつながりが感じられるようなものがある。紀元950年にはトンガ人がサバイイ島を支配していたとの言い伝えも残されている。

### ●西洋との接触

1722年オランダ人が現在の米領サモアの小島に近づきマヌーア島と命名したこと

が記録されている。1768年にはフランス人探検家がこの島に上陸し住民と接触した。次いで1787年に同じくフランス人が現在の米領サモアのツツイラ島に上陸した。1800年代前半には多くのヨーロッパ人がサモアに定住していたといわれている。

1828年にメソジスト派の宣教師が初めてサモアに上陸したが、その時点では既にキリスト教を受け入れる素地ができていた。その後はイギリスやイタリアのローマ、そしてアメリカから宣教師や伝道師がサモアの島々を訪れ布教を開始した。

また、1850年以降になると貿易を目的としたヨーロッパからの移住者も増加し、特にドイツは土地の購入や入植者の送り込みにも積極的であった。

### ● 3国統治の時代

19世紀後半には、サモアの伝統的な地位を有する2家系が東西に別れ、住民を巻き込んだ権力闘争を繰り返していた。この闘争にドイツと米・英両国の主導権争いが絡んで混乱が絶えなかった。さらにサモアは、米国の申し出ている海軍基地の提供を英国とドイツにも提供することにしたため、混乱の收拾の目処が全く立たない状況となった。そして1889年、ベルリンにおいてドイツ・米国・英国の3国は、3国が派遣する領事が、任命されたサモア人国王を補佐して統治を行うというベルリン条約を締結した。

しかしこの条約はまったく効果なく、東西に別れての権力闘争が続いたことから、

1899年12月に再び3国間条約が締結された。すなわち、サモア諸島の東部を米国、西部をドイツが統治し、これまでドイツが権利を出張していたニウエ、トンガ、ソロモン諸島からドイツが撤退することを条件に、英国はサモアの権利を放棄した。これ以降、サモア諸島は東西に分裂した歴史を歩むことになった。



ファレラライにあるキリスト教会

### ● 西サモアとドイツの時代

1900年2月、ドイツは、西サモアを統治するためにドイツ人知事を任命した。当初の数年間是比较的平穏が続いたが、植民地としての支配が強くなるに従ってサモア人の不満が募り、また伝統を無視したドイツ人知事への反発もあって、これがレジスタンス運動へと発展していった。

1905年にサバイイ島の火山噴火があり、西サモアの状況は一変することになった。噴火は1910年まで続き、その間レジスタンスによる反政府運動もあり、ドイツはサ

バイイ島から退去することになった。

## ●独立への道のり

1914年、第1次世界大戦が勃発し、ドイツ敗戦により、ニュージーランドが西サモアに進駐した。

第2次世界大戦の勃発によって一時的に米軍が西サモアに進駐したが、1945年にはニュージーランドの施政下で国際連合信託統治地域となった。

1947年には、西サモアの地方自治体が集まり、ニュージーランドの支援を受ける形で議会を設置し、1954年に憲法制定のための初議会が開かれた。

1961年1月、独立に向けての要請を国連に行い、住民投票を経て、1962年1月「西サモア独立国」の名称の下に独立。1997年、国名を「サモア独立国」に変更した。

## 政治

サモアは立憲君主国家であり、国家元首は事実上代表的な4部族の長の中から選ばれる。現在の国家元首はトゥイアトゥア・トゥプア・タマセセ・エフィ。国家元首に実質的な権力はなく、国事行為はすべて議会の承認によって行う。政府は、首相と12人の閣僚によって構成されている。

議会は1院制で49議席からなる。1990年の国民投票によって、21歳以上のすべての国民に選挙権が与えられたが、被選挙権は「マタイ」の称号を持つ者にしか認められていない。

サモア独立国の政治の特徴は地方自治の形態にあり、とくに村の単位では、現在でも一族の長を中心とした伝統的な運営がなされている。

## 経済

ウポル島とサバイイ島、その周辺の小さな島々からなるサモアの経済活動は小規模で、ココナツやタロイモなどの伝統的農業に依存しており、90年代半ばからの経済成長も漁業、農業、観光が大きく貢献した。現在、労働人口の60%が従事している農業のGDP(国内総生産)に占める割合が徐々に減少しつつあり、2004年には、ニュージーランド、豪州、米国に住むサモア人からの仕送りがGDPの19.3%を占め、重要な国家収入になっている。民間企業としては最大企業であるヤザキ・サモアが最盛期には2,000人以上の現地人を雇用し、自動車用ワイヤー・ハーネスを生産しており、サモアの豪州への輸出の殆どを占めている。

## 社会と人々

サモアの人々は古い伝統に則した社会システムを守っている。そのシステムは厳格であるが、逆に人々は底抜けに陽気な様子を見せている。すべての村には、1日の仕事を終えた人々が集まってくる広場がある。そこで彼らは、キリキティ(kirikiti)と呼ばれるサモアのクリケットやバレーボールを楽しむ。人々は歌を愛し、1日中でも歌って飽きることを知らない。そして日曜日に

は教会に出かけ、賛美歌を歌う。富んでいる人は少ないが、貧しい人もいない。人々は友好的で、外国からの訪問者を暖かく迎える。



教会から家路につく人々

### ●サモアのダンスはフィアフィア (Fiafia)

一般的に知られているのは、木製の太鼓が作り出すリズムに乗って演じられる火とナイフを使う劇的で勇壮なダンスである。本来は村の行事として行われていたものが、現在では観光客向けに大きなホテルでディナーショーとして演じられ、人気が高い。

なお、ホテルなどのフィアフィアショーの日程は直前に変更されることがあり、宿泊客が少ない時などは取り消されることもあるので注意しよう。



サモアのダンス「フィアフィア」

### ●アヴァ (Ava) (一般にはカヴァ (Kava) と呼ばれる) の儀式

「カヴァの儀式」は、酋長会議や客人のも

てなし、冠婚葬祭などの始まりに催される厳粛なセレモニーで、複雑な手順と作法がある。そのため、「南太平洋の茶道」とも言われ、サモアの他にフィジーやトンガなどにもある。

カヴァとはコショウ科の草木で、その根を乾燥させて細かく砕き、タノアと呼ばれる大きな木鉢の中で水と混ぜて作る飲み物で、薄茶色の濁り水のように見える。アルコール成分、カフェイン成分は全くなく、口に入れても舌先にピリッと感じる程度で、強い味はない。インスタントで作れるパウダーも売られており、また肝臓の妙薬としてドイツへも輸出されていたが、2000年に肝臓に悪影響があるとしてドイツ、英国、フランスが輸入を禁止、続いてEU、北米、日本も輸入を禁止した。その後、スコットランド・アバディーン大学とルクセンブルグ癌生物分子研究所により抗癌作用が確認され、国際カヴァ委員会では欧州の輸入解禁を求め、活動を始めている。

### ●音楽

サモア人の音楽好きはよく知られているが、同時に音楽に対する才能が豊かなことも事実である。楽器を弾く能力は、ポリネシアの人々の生まれつきの才能であるように思われる。

# 旅行者へのアドバイス

## 日本からのアクセス

日本からサモアへの直行便はなく、一般的なルートとして、ニュージーランド航空にてニュージーランドのオークランド経由で、またはフィジー航空にてフィジーのナンディ経由で、ウポル島のファレオロ国際空港に入るルートが定番である。

他には、オーストラリアのシドニーまたはブリスベンから入るルート、さらに米国のハワイから入るルート、米国領サモアから入るルートに加え、最近ではトンガ王国にも週1便フライトがある。

なお、ウポル島とサバイイ島を結ぶ国内線も運航しているので、詳しくは、航空会社、旅行代理店に問い合わせられたい。



ファレオロ国際空港

## パスポートとビザ

90日以内のビジター滞在ならば、ビザは不要。ただし、帰りの航空券が次に訪問する国のビザを所持していない場合は入国できない。滞在が許可される期間は、到着時に

提出する入国カードに記載した日数になる。また入国カードに滞在先を明記する必要があるため、ホテル名や宿泊先は正確に記載できるようにしておくこと。パスポートは滞在日数+6ヶ月以上の残存期間が必要。滞在期間をまかなう十分な自己資金を保有していること。滞在期間を延長する場合は、更新料（現行200タラ）を払って更新する必要がある。

なお、ビジター入国の場合は、仕事は許可されていない。詳細は、Ministry of Prime Minister and Cabinet内の移民局まで問い合わせること。（Tel: 29840 / 25524）

<https://mpmc.gov.ws/divisions/immigration/permits-2/>

## 税関

アルコール類（21歳以上）は、2.25リットル以下を1本以内、タバコは200本までか250gまで無税。

生きている動物は持ち込めない。一般的に、オセアニア諸国は食物や植物や肉類の持ち込み等は日本より厳しい。

## 人・出国手続き

ターミナルビルの入国窓口で滞在日数と入国目的を聞かれるが、形式的なものであり簡単に済む。

入国時の必要書類は、入国カード/税関

申告書が両面1枚となっているPassenger Arrival Declaration Card。

## 時 差

日本より4時間早い。日本が正午のとき、サモアは午後4時。

サマータイム（9月末～4月初め）は、現政権から廃止されたので、自動時間調節のデバイスは手入力するとよい。

## 通貨と両替

サモアの通貨はタラ (Samoan Tala) で、サモア・ドルともいう。紙幣は、5、10、20、50、60（独立記念60周年の記念紙幣）、100タラの6種類、硬貨は10、20、50セネ (sene) と1、2タラがある。1タラは100セネ。10セネ以下は四捨五入される。

市内にある豪州系のANZ銀行（オーストラリア・ニュージーランド銀行）、BSP銀行（サウス・パシフィック銀行）、ナショナル銀行、サモア商業銀行で両替ができる。また、大手両替所のウエスタン・ユニオン (Western Union) の店舗はウポル島、サバイイ島に複数ある。空港でも両替が可能だが、到着が早朝や夜間の場合もあるので、経由地のニュージーランド、フィジー、オーストラリアや他の近隣諸国で予め両替しておいてもよいかもしれない。

ANZ銀行とBSP銀行のATMは多数あるが、サバイイ島にはまだ少ない。郊外に行く際は、常に現金をある程度持っている方

が安心だ。現在為替レートは、1タラ＝53.713円（2024年2月現在）となっている。

## クレジットカード

主要なホテルやリゾート、レストラン、スーパーなどでは、VISAやマスターカード、アメックス、ダイナースなどが利用可能。カード払いの場合、4～4.5%の手数料を課されることが多い。住民や長期滞在者は、口座を持つ銀行カードでのデビット払いも可能。

## 交通機関

### ●バス

ウポル島（アピア）、サバイイ島では、バスが住民の足となっている。トラックを改造したカラフルなバスは旅行者も利用できるが、バスの行き先（終点）の名前がバスの名前（正面の窓に書いてある）となっており、運転手にどのバスに乗ればよいか聞くこと。Savalalo 地区のFishマーケット前とFugaleiマーケット前がバス・ステーションとなっている。時刻表はなく、



サモアのバスはカラフル

朝 6:00 ~ 17:30 までの運行。料金など詳細は、大聖堂前のサモア観光局ビジター情報センター (Beautiful Samoa の看板) で尋ねるとよいが、午後は時間通りに運行されることは稀なのと、アピアから乗るのはよいが、アピアに戻る便はわかりにくいので注意すること。

### ●レンタカー

日本車が多く、日本同様、右ハンドル左側通行なので、ドライブできると、サモア観光がいっそう楽しめる。サモアナ・レンタルス (Samoa Rentals)、ファンウェイ・レンタルス (Funway Rentals)、バジェット・カー・レンタルス (Budget Car Rentals)、ジュリアナズ・レンタルス (Juliana's Rentals) の 4 社が大手で、その他、アピア郊外や村の方でも小規模のレンタカー会社がサービスを行っている。日本の国際免許証だけでは運転は出来ないため、日本の免許証を提示して、ツーリスト専用の免許証を取得する必要がある。Vaitele 地区の陸運局 (Land Transport Authority Tel: 26740/41 Url: <https://lta.gov.ws/>) か、大手のレンタカー会社で手続きが出来る。料金は 1 ヶ月有効のもので 21 タラ。(専用免許証の交付手続きは、上記の LTA に問い合わせるか web を参照。) 料金は、車種とスペック、期間によるが、目安としてガソリン代別で、中型クラスの普通乗用車で 1 日 150 ~ 200 タラ程度。期間が長くなるほど 1 日あたりは割安になる。レンタカー

のほとんどは人身事故の保険付与はなく車両保険のみなので要確認。保険の代わりに、借りる時に、500 ~ 2000 タラくらいの保証金を預ける場合が多く、何もなければ返金される。

また、信号機は道路の左右にあり、大通りでは、右折は右側の信号機の緑の矢印が付くまで待たねばならないので注意が必要。

### ●タクシー

メーター制ではなく、政府により料金が決められている。アピア市内であれば 3 ~ 5 タラ程度。主要な場所までの料金は、サモア観光局ビジター情報センター (Beautiful Samoa の看板) に尋ねるとよい。利用する前には必ず運転手に料金を確認すること。大部分は白い車で、「T」のナンバープレートか車上の「Taxi」の看板でわかる。国際空港やアピア市内には、かなりの数のタクシーが走っているため、手を挙げれば止まってくれる。

ファレオロ国際空港からアピア市内は、約 40 ~ 50 分ほどで 80 タラが目安。

### ●フェリー

ウポル島とサバイイ島の間には、サモア・ SHIPPING 会社 (Samoa Shipping Corporation) によるフェリーのサービスがあり、大きい方のフェリー Lady Samoa III (船名) で運航時間は約 1 時間。朝 6 時から、ほぼ 2 時間おきに大小のフェリーが夕方まで運航している。日曜日も本数は減るが運航している。運航は、天候と

波の状態によってはキャンセルされる。

旅行者のみならば、当日、出港する港の窓口で直接チケット購入も可能。大人10タラ、子供5タラ。

車で渡航する場合は、直接会社に行き、チケットを事前に購入する。運転手込みで、中型車190タラ、小型車160タラ。

Url: <https://www.ssc.ws/>

Tel: 20935

Email: [info@ssc.ws](mailto:info@ssc.ws)



フェリー（大）レディ・サモアⅢ

## 通 信

### ●一般事情

国内電話・国際電話・携帯電話ともに、民間企業である Vodafone および Digicel Samoa がサービスを提供している。公衆電話はない。ファレオロ国際空港内に、両社の店舗があるので、SIMフリーの携帯電話があるなら、そこで旅行者パッケージのSIM（現地電話番号付き）を購入して設定してもらおうと良いだろう。インターネット用のデータ＋国内通話／国際通話＋sms など、各会社のプラン（24時間、7日間、14日間、28日間など）に応じて購入する。

アピア中心地にも両社の店舗がある。

### ●国内電話

固定電話のダイヤル桁数は5桁で、市外局番はない。FAX はもうほとんど利用されていない。

### ●国際電話

直通ダイヤル方式。回線状態はあまり良くなく、日本へは夜間の方が状態は良い。

### ●携帯電話

携帯電話が普及しており、Vodafone および Digicel Samoa がサービスを提供している。ほぼ国内全域をカバーしている。なお、携帯電話のダイヤル桁数は7桁。

### ●インターネット

インターネットの環境は整備されている。空港には無料 wifi がある。旅行者は、SIM フリーのスマートフォンに旅行者パッケージのSIMカードを入れてもらえば、すぐにネット接続でき、テザリングすればパソコンも繋がるので、利便性が高いのではないかとと思われる。14日間ほどのプランで、30GB や 50GB のデータ（会社による）が付与される。市街地から遠く離れたり、山などでは、ネット環境はスムーズに接続しない時もある。

## 電 気

240V、50Hz。プラグの型はO型でオーストラリアやニュージーランドと同じ「H」の字型の2ピンまたは3ピンプラグ。日本製品を使用する場合、変換用のアダプターが必要。

## 飲料水

首都アピアでは原則として水道水は飲めるが、旅行者には念のため市販のミネラルウォーターを飲むことをお勧めする。また、レストラン、ナイトクラブ、バーなどで使われる氷は、浄化した水を使っており一応安全と思われるが、心配なら事前にウェーターに聞くこと。

## 病 気

マラリアの心配はないが、たまにデング熱が発生する。デング熱は病原菌を持つ蚊に昼間に刺されることにより感染するので、熱帯地域用の防虫剤（ウェット・ティシュー・タイプ）などを用意すること。スプレーは持ち込めない。

## チップ

日常生活でチップの習慣がないので、余程のことがない限りチップを出すことは好ましくないとされている。

ただ、気持ちの良いサービスを受けた時には、分かち合いや感謝の気持ちとして差し出すのは良いだろう。

## 服 装

1年を通じて薄手の夏服で過ごす。但し、夜間寒くなるので薄手の上着を用意すると良い。ホテルやレストランではカジュアルなイブニング・ウェアが適当である。

洗濯する場合は、アピア市内にLaundry

が何軒かある。店舗によって値段とやり方は違うが、目安は洗濯で7～10タラ、乾燥機で20～30タラくらい。プラスの手数を払えば、店に任せて、置いてきて取りに行けばよい。洗剤は店舗で販売している。



Laundry 内部

## 現地行動のエチケット

サモアでは、旅行者は温かく迎えられる。しかし、現地のしきたりもあり、海岸も含め村に入る時は、次のことに注意しよう。

・夜のお祈りの時間（午後6時～7時の間10分～20分程度）は、特に村の方は保守的で教会の習慣を大切にしているので外出を控えよう（村人に外出禁止を命じている村もある）。通常、開始時と終了時にはベルやホラ貝で合図がある。

- ・日曜日には多くのアトラクションが行われるが、安息日でもあり、出来るだけ静かに、ゆっくりと行動しよう。
- ・トラブルを起こすことにもなりかねないので、肌があらわな服装は避けよう。
- ・女性が教会に行く場合、ズボンや短パンを避け、ラバラバ（男女が腰に巻く衣類）と袖付きの上衣を着用しよう。袖付きの上品なワンピースでもよい。
- ・水泳や日光浴をする場合、ヌード姿やトップレス姿は厳禁。
- ・ファレ（サモアの伝統的な円形、楕円形の建物）に入る場合は、靴を脱ごう。
- ・ファレでは老人が座っている場合、決して立ったままですずに、座るようにしよう。
- ・ファレで座る場合、足を他の人に向けないようにする。足を組んだり、ラバラバで隠すようにしよう。
- ・写真を撮る場合、必ず事前に許可をとろう。
- ・ねだられても子供たちにお金をあげることとはしないようにしよう。

## 治安

基本的に殺人などの凶悪犯罪は少ないが、近年、都市化が進み、貧富の差が広がるにつけ、暴行や強盗、窃盗、車上荒らしなどの事件が増えてきた。日曜日は現地人は教会に行く日なので、アピアの中心街さえも人のいない場所が増える。そこを狙った暴行や強盗事件も起こっているの、日曜日や夜間の外出には、タクシーや車で目

的地に行くことをお勧めする。

またナイトクラブなどでは酔っ払いが喧嘩を始めたり、若者のドラッグ使用の問題もあるので、気を付けよう。

## その他の注意点

サモアは、常夏の国で、旅行者が楽しめるビーチもたくさんある。しかし、場所によっては、離岸流（Rip Current）という岸から沖に一気に流される海流の強いエリアがあり、特に、足の付かない所で離岸流に巻き込まれると、自力で岸まで戻るのが難しく、命を落とす旅行者もいる。看板があれば、しっかりと確認するか、現地の人に必ず尋ねること。

また、宿泊施設の管轄ではないビーチを利用する時や私有地内の洞窟などの観光名所を訪れる際には、その土地の所有者か村人が現れて、入材料／使用料／見学料（大体10～20タラほど）を要求されるので、支払うこと。

山登りをする時には、村の許可を得た上で、必ず村人のガイドを雇うこと。サバイ島の最高峰シリシリ山などは、登山に1泊キャンプが必要で、山中には野犬や猪（野生化した豚）もいるので、特に留意したい。

ウポル島にあるヴァエア山の登山は人気があるが、険しいところもあるので、できれば2人以上で登ることと、水分補給の水を充分持参することをお勧めする。

## 料理と食材

代表的なサモアの伝統料理には、日曜日に食べるパルサミ（タロ芋の葉にココナツクリームと玉ねぎと塩で味付けしたものを巻いて石焼きにしたもの）とタロ芋やウル（別名ブレッドフルーツというパンに似た味のフルーツ）の石焼き、オカ（生のマグロや白身魚のぶつ切りをココナツミルクと野菜であえたもの）、祝い事の際には豚の丸焼きがある。肉類では牛、豚、鶏を食し、マグロ、鯛、カツオ、カワハギ、ベラ科、ロブスター、マングローブ蟹、ウニ、タコ、ウツボ、海ブドウなど豊富な種類の魚と魚介類がFishマーケットに並ぶ。

Fugaleiマーケットには、様々な地元の食材、花、服、雑貨、日用品が所狭しと並ぶ。よく食されるのは、タロ芋、ウル（ブ



Fish マーケット



ラッキー・フード・タウン日本食材

レッドフルーツ)、ヤム芋、さつま芋、クレソン、アボカド、バナナ、パイナップル、マンゴー、パイナップルなど。最近ではドラゴンフルーツ、スターフルーツもある。

日曜日の早朝にはFishマーケット横にサンデー・マーケットが立ち、肉や野菜、芋や果物の食材のみならず、鉢植え植物類や、調理済みのパルサミやタロ芋、スープやサンドイッチやバーガーなども売られているので、覗いてみるのも楽しいだろう。

ウポル島では、日曜日の午後でも開いているスーパーや食品雑貨店が増えてきて、中国人の経営する店舗は平日21時までオープンなど、調達はどんどん便利になっている。海外から輸入している食材は、スーパーを見て回ると、たいていのものが揃うだろう。ラッキー・フード・タウン（スーパー）には、日本食材を置いている棚がある。

レストランやカフェも増え、そこではイタリアンやステーキ、フィッシュ&チップスなど、いわゆる西洋料理の肉料理や魚料理の他、中華、インド、メキシカン、タイカレーなどエスニック料理もあるので選択

肢は色々ある。ちなみに、「Sashimi」は普通にレストランの前菜として扱われている場合が多い。

一方、サバイイ島は、日曜日にはほぼ全ての店舗が休みで、開いているのはリゾートホテル内のレストランのみなので気を付けよう。また、サモア国内で日曜日は店舗でのアルコール販売は禁止だが、ホテル内では提供される。

### 特産品

希少性の高いものとしては、カカオ、コーヒー、アヴァ（一般にはカヴァと呼ばれる南太平洋で儀式やもてなしに使われる胡椒科の草木の根を砕いたもの）、ノニジュ



カカオとウル／カカオの実



パルサミ



木彫りの工芸品と団扇などの雑貨

ス、真珠や貝などのアクセサリ、ココナッツの殻の細工物、木彫りの工芸品や器、樹皮から作られるタパ布、木の葉を織った団扇やカゴ&バッグ、ラバラバ（腰布に使うが、色んな用途に使える）、ココナッツオイルなど。

\* 特産品ではないが、入れ墨（英語 Tattoo、サモア語 Tatau）の発祥の地とも言われるサモアでは、入れ墨を入れているサモア人は多い。

### サモア語の簡単なあいさつ

こんにちは… talofa（タロファ）

ありがとう… Fa' afetai（ファーフエタイ）

乾杯…………… manuia（マヌイア）

# ウポル島と首都アピア



サモアの中でサバイ島に次ぐ面積をもつウポル島には、全人口の80～85%が生活している。ウポル島はホラ貝のような形をしており、東西が72km、南北が24kmほどで面積は1,115 km<sup>2</sup>、島の内部は未開の熱帯雨林に覆われており、中心には標高1,116mの最高峰フィット山がある。緑に囲まれた島の中心部と変化に富んだ海岸線、ウポル島の人々は、そのほとんどが海岸沿いに住んで昔ながらの生活様式を守り通している。2009年の地震による津波以降、少し内陸部に移住も増え、中央の山地にも村があるが、それは数えるほどしかない。

首都アピアは、サモアの空の玄関口ファレオロ国際空港から車で東に約40～50分、島の北部中央にある。人口は36,000人ほどで、サモアで唯一の都会的な雰囲気を感じさせる街である。

## アピアの一般事情

### ●道路と交通事情

ウポル島はアピアを中心に道路網が整備されている。空港から市内への交通機関は次のようなものがある。

#### ・バス

空港シャトルバスの提供はすでにない

ようだ。トラックを改造したカラフルなバスも利用できるが、海外からの航空便は早朝に到着することが多いので、ホテルからの送迎バスかタクシーを利用することをお勧めする。バスを利用する場合は、荷物を持って通りまで出る。

なお、市内でバスを利用する場合、料金は安いですが、運行時間が一定していない

ので、旅行者は戸惑うことが多い。とくにアピアから離れた場所へバスで出かける時は、帰りのバスを確保するのはかなり難しい。往復ともバスを利用するなら、早い時間に出かけて、昼過ぎにはアピアに戻るくらいの予定を立てることが、この島の観光の秘訣である。バスターミナルは、Savalalo地区のFishマーケット前とFugaleiマーケットの隣にある。



バスターミナル



バス



バス停

## ・タクシー

空港から市内まで片道80タラ程度だが、乗車する前に運転手に料金を確認すること。

なお、市内でタクシーを利用する場合、台数が多く料金も安い(目安:市内は3~5タラ)が、料金はすべて運転手との交渉で決まる。それだけに、観光などで利用する場合などは、ホテルやツアー会社の人に頼んで料金を交渉してもらうほうが安くなる。

## ・レンタカー

ツーリスト専用の免許証は、Vaitele地区の陸運局(Land Transport Authority Tel: 26740/41 Url: <https://lta.gov.ws/>)か、大手のレンタカー会社で手続きする。料金は1ヵ月有効のもので21タラ。専用免許証の交付手続きの場所は、上記のVaitele地区の陸運局(Land Transport Authority)である。

## ●銀行と両替

ANZ銀行(オーストラリア・ニュージーランド銀行)、BSP銀行(サウス・パシフィック銀行)、ナショナル銀行、サモア商業銀行で両替ができる。また、大手両替所のウエスタン・ユニオン(Western Union)の店舗はアピアに複数ある。空港、タノア・ツシタラ・ホテルにも両替サービスがある。経由地のニュージーランド、フィジー、オーストラリアや他の近隣諸国で予め両替しておいてもよいかもしれない。

## ●郵便と通信

郵便局はビーチ・ロードの政府ビルの真向かいで、時計台のすぐ近くのVodafoneビルの中にあり、営業は平日の8時～16時30分まで。サモアの切手はカラフルで種類も多くお土産としても人気がある。

## ●緊急時

警察／救急車／消防の緊急ダイヤルは全て911となっている。

## ●サモア観光局

サモアの首都アピアのメインストリートにあり、伝統的なファレを現代風にアレンジした建物なのですぐ目につく。ビジター情報センターの「Beautiful Samoa」で、地図やパンフレットが入手でき、職員は質問に気軽に対応してくれる。

オフィスの営業時間は、平日が8時～16時30分、土曜日は正午まで。



ビジター情報センターと無料の地図

## ●日本の旅行会社

### パシフィック・インターナショナル旅行部

Pacific International

TEL 23225 / 23017 / 21013

E-mail: travel@pilsamoa.ws

設立50年以上のサモアの代表的な日系企業。観光から貿易、事業の企画、車の手配など、サモアに関するすべての相談に気軽に応じてくれる。営業時間は平日が8時～16時30分、土曜日／日曜日は定休日。

### 中心街を散策する

アピアの町は、アピア湾に沿って東西に走るビーチ・ロード (Beach Road) と、そこから南へのびるバエア・ストリートを中心に、半日で歩き回れるほどの広さである。

### ビーチ・ロード

Beach Road

北側にアピア港が開けるメインストリートで、この通り沿いには観光局をはじめ、銀行や郵便局、教会、みやげ物店、レストラン、ホテルなどが並んでいる。海側には政府庁舎や中央銀行がある。



海沿いを走るビーチ・ロード

## Fugalei マーケット (フガレイ中央/食品マーケット)

Maketi Fugalei

フガレイ通りを南に入っていくと、アピアの中央バスターミナルに隣接して中央市場がある。ここはアピアでもっとも人の集まる場所で、南国の野菜や果物、民芸品、洋服、雑貨、日用品、花束などが売られていて、周囲には軽食の屋台もある。



## カトリック大聖堂

Mulivai Catholic Church

ビーチ・ロードにあるこの大聖堂は1885年に建設が開始され20年間の歳月を要して完成した。7階建ての政府庁舎が完成するまでは、20km先の海から眺めることができるアピアのランドマークだった。



大聖堂と大聖堂の中



## 時計台

Clock Tower

ビーチ・ロードとバエア通りとがT字になっている地点にはアピアを中心を示すかのような白い時計台があり、ロータリーとなっている。この時計台は第1次世界大戦で死亡した軍人を記念して建てられたものである。ここから始まるバエア通りはアピアで一番交通量が多く、マクドナルドや中華レストランなどがあり、ビーチ・ロードに次いで観光客に人気の通りである。



白い時計台

## 観光局／政府庁舎

### Government Building Complex

7階建ての観光局／政府庁舎は中国政府の援助によって1993年に完成した。屋上のファレはサモアの伝統を取り入れたものである。



屋上にファレのある観光局／政府庁舎

## アピア近郊の見どころ

### ムリヌウ半島

#### Mulinu'u Peninsula

アピアの西側に突き出たムリヌウ半島は、古い都の在った場所で、政治上の記念碑や国会議事堂などの政府庁舎が多く見られる。アピアの街からビーチ・ロードを半島の方へ行くムリヌウ通りに入ると、直ぐにタノア・ツシタラ・ホテルがある。そのまま10分ほどでイギリス・アメリカ記念碑があり、その先にドイツ記念碑がある。さらに少し歩くと独立記念碑と土地称号裁判所があり、その左手には丸屋根の国会議事堂がある。サモアの伝統建築様式であるファレを現代風にアレンジした建物で、屋根の下はガラス張りで見えるようになっている。半島の最先端には1902年に

ドイツ人によって建てられた気象台やタマセセ王や当時の王朝の大きな墓があり、その手前にはマエリトア・タヌマフィリ I 世とその父であるラウペパ王の墓がある。



国会議事堂



裁判所

### パロロ・ディーブ

#### Palolo Deep

ムリヌウ半島からアピア港を挟んだ反対側にあるパロロ海岸から沖合いに100mほどの地点が「パロロの深み」と呼ばれる場所である。海岸からそこまでは満潮時でも大人の背丈ぐらいの深さしかないが、パロロ・ディーブに到着すると突然80mほどのドロップ・オフとなる。海の保護区に指定されており、カラフルな魚が群れ泳ぐ、シュノーケリングには最高の場所である。保護区への入場は有料（5～10タラ／人）で、毎日8時～18時まで開いている。また、

シュノーケリングやマスク、フィンも有料で貸してくれる。ダイビングは、提携別会社への依頼となる。



パロロ・ディープ入口/中/海辺

### パパーセアの滑り岩

Papaseea Sliding Rock

アピアからバスで20分ほどにあるアピアっ子に人気の場所。なだらかな天然の滑り台で、岩の間をぬって滝壺に飛び下りる気分は実に爽快であり、子どもたちには絶

好の遊び場になっている。一度は試してみたいと多くの観光客が訪れるが怪我に注意。水着を持参して、入り口で番をしている婦人に料金を支払って入る。



パパーセアの滑り岩

### スティーブソン博物館

Robert Louis Stevenson Museum

ビーチ・ロードからウポル島を横断するクロスアイランド・ロードで南に4kmのところ「宝島」や「ジキル博士とハイド氏」の作者として知られる作家、ロバート・スティーブソンの住居が博物館として残されている。英国調の門構えだ。彼はここで最後の4年間を過ごし、自然と人々の営みを書き残している。サモアを心から愛し、人生の最後の数年間をサモアの為に捧げたスティーブソンは、今でもサモアの語り部（ツシタラ）と呼ばれて尊敬されている。

スティーブソンの死後、この住居はその時々為政者によって使用されたが、彼の没後100周年を記念して1994年に博物館としてオープンした。

邸内には南洋には必要ではないと思われる暖炉も残されている。これは故郷である英国の生活を偲んで作ったものなのであろう。博物館まではアピア市外からタクシーまたはバスを利用する。開館時間は、月曜から金曜日の9時～15時30分、土曜日の8時～12時までとなっている。入館料は大人が20タラほど。ガイドツアーあり。哀山ヴァエア山にはスティーブソンンの墓がある。



スティーブソン博物館門



邸宅



スティーブソン邸の暖炉

## ラントオ湖

Lake Lanotoo

アピアからクロスアイランド・ロードを利用して、バハイ教会を過ぎた右手にある黄緑色の火口湖で、野生の金魚が岸に集まることからゴールドフィッシュ・レイクとも呼ばれる。環境に配慮した観光開発を目指しているため、車を降りて2kmほど山道を歩くが、是非とも訪れたい場所である。所要時間は片道1時間半程度。ガイドをつける必要がある。

## ピウラ洞窟プール

Piula Cave Pool

アピアから東に18kmにあるピラウ・メソジスト大学の裏手にある真水のプール。海水とは自然の溶岩のブロックで仕切られているだけなのに、天然の湧き水で、プー



ピウラ洞窟プール

ルにつながる洞窟は深くて暗く、ここで泳ぐと探険家になったような気分が味わえる。このプールから2kmほど山に向かうと高さ10mのファレファの滝がある。滝のスケールは小さいが姿が美しいことから写真撮影などで人気がある。月～土は朝6～17時、日曜日は定休日、大人は5タラ／人、子供は3タラ／人、駐車料金が10タラ／台。

### ウワファト自然保護地区

Uafato Conservation Area

ファガロア湾の東に位置するこの地域は、絵を見るように美しい村で、丘から海に張り出した雨林を含む一帯が保護地区に指定されている。また、伝統的な工芸品を彫る人々が多く住んでいることでも知られている。

### パパパパイ・タイの滝

Papapapai-tai Falls

クロスアイランド・ロードの峠を越えた地点にあるサモア最大の滝で、ジャングル



森の中を流れ落ちるパパパパイ・タイの滝

の緑の中に落差100mの水しぶきが白く映える。滝に近づくことはできないが、峠から展望することができる。

### パラダイス・ビーチ

Paradise Beach

ウポル島の南側のレファガ村にあるサモアで最も有名なビーチで、すべての観光客が訪れるという。1952年にゲーリー・クーパーが主演した映画『Return to Paradise』のロケ地となり世界的に有名になった。ヤシの並木と白い砂浜は当時の美しさをそのまま残しており、まさに楽園を想わせるビーチである。アピアからはツアーバスが出ている。入り口で入場料を支払う。

### 黒砂海岸

Black Sand Beach

アピアから東に10kmほどのソロソロ村にある溶岩の溶けた黒砂の混じった海岸が有名だが、アピアからクロスアイランド・ロードを抜けた南海岸にもアガノア黒砂海岸 (Aganoa Black Sand Beach) がある。シュノーケリングやピクニックに人気がある。

### アレイパタ

Aleipata

ウポル島の東端にある数キロにわたって広がる白いビーチとサンゴ礁の海は、サモアでは是非訪れたい場所である。アレイパタの沖合いには4つの小島が浮かんでおり、カヌーで渡ることができる。



美しいアレイパタの浜辺

### オレプブ・プエ国立公園

O Le Pupu-Pu'e National Park

「海岸から山頂まで」という名前のこの公園は、1978年にできた自然環境の保護と研究、環境教育を目的としたサモア唯一の国立公園である。公園は、1,158mのウポル島最高峰のフィット山からオレプブ溶岩海岸までの29 km<sup>2</sup>をカバーしている。

### トスア・オーシャン・トレンチ

To Sua Ocean Trench

近年サモアの観光地としては一押し of ウポル島南岸にある天然プール。知る人ぞ知る世界の秘境の絶景の一つ。木製の梯子を降りて、外洋とつながる水中の岩場の間を潜り抜けていくと、美しく神秘的な世界が広がるサモア版「青の洞窟」を目にするこ



トスア・オーシャン・トレンチ  
(©David Kirkland)

とができる。海流の流れがある所もあるので注意すること。なお入場料は20タラ。

### シャコ貝の聖地

Giant Clum Sanctuary

ウポル島の南西部にあるSavaia村にある、800くらいのシャコ貝のいる養殖地。最近注目を浴びている観光スポット。多少の雨降りでもシュノーケリングできる。月～土曜日の朝6～18時。入場料20タラ／人、シュノーケル・レンタル5タラ。



## アクティビティ情報

### ●シュノーケリング

シュノーケリングに適した場所はサモアのどこにでも見つけることができる。最も手軽な場所はアピアから歩いて行けるパロロ・ディーブだが、初心者の場合はウポルの西海岸のマノノ島やアポリマ島の周囲が安心してできる。ウポルの南海岸の沖に浮かぶ無人島、ヌウサフェ島にカヌーで渡れば、手付かずのサンゴ礁のビーチがある。

経験豊かなシュノーケラーには、ウポル島の東に浮かぶヌウテレ島 (Nuutele Island) の周囲が面白い。しかし、波が荒かったり流れが早かったりするので注意が必要である。

## ●ダイビング

サモアは太平洋諸島の中ではダイビング・スポットに関する情報が少ない。それだけにダイビングショップの数も少ないが、いくつかの知られたサービスがある。

### サモア・ダイヴ

Samoa Dive

Tel: 7749702

E-mail: samoadive@gmail.com

Url: www.samoadive.com

### アクア・サモア

Aqua Samoa

Tel: 7522665

### ダイブ・サバイ

Dive Savaii

Tel: 596022

### レ・ラゴト・ビーチ・リゾート

Le Lagoto Beach Resort

Tel: 58189

## ●ゴルフ

アピアの郊外にロイヤル・サモア・カントリークラブとファレアタ・ゴルフ・クラブがある。18ホールのコースはヤシに囲まれ、自然の地形を生かした変化に富んだ



ゴルフ場

設計になっている。服装や靴は自由でクラブは貸してくれる。

## ●テニス

アピアの東の外れにアピア・パーク (Apia Park) がある。ここは総合グラウンドになっていて、サモアで一番人気のラグビー場から競馬場まである。テニスコートは5面あり、ビジターでも利用できる。

## ●プール

トゥアナイマト公園内のスポーツコンプレックスに、50メートルのプールがある。

月曜日定休、火～金曜日11～17時、土曜日9～17時、日曜日12～17時。



## ●映画

アピアの中心地にアポロ・シネマズという映画館がある。



## ホテル／宿泊施設

首都アピアのあるウポル島には、あらゆるタイプの宿泊施設があり、予算とプランに応じて選べるのが魅力。アピア市内や郊外の高級感あふれるデラックス・ホテルから、スタンダードな街中のホテル、モーテル、プール付きのゲストハウス、サービスアパートメント、B&B、ホステル、海辺のリゾートホテル、バンガロー、コテージまで多種の宿泊施設が利用可能である。サバイイ島の宿泊施設も、近年すいぶん増えた。

サモア特有の宿泊施設としては、浜辺に建つ伝統的なビーチ・ファレ（椰子の葉で葺いた屋根、柱と椰子の葉のブラインドだけある高床式の部屋）がある。壁はなく、昼間は巻き上げてある椰子の葉のブラインドを夜は下ろし、蚊帳で覆ってあるマットレスの寝所で寝る。電気や水道も通っていない。敷地内にある母屋の建物で飲食したり、共用のトイレ／シャワーを利用する。

なお、アピア市街地を離れると、銀行のATMはそれほど多くはない。クレジットカードで払えるが、手数料が4～4.5%上乘せられるので、消費税の内税表示かも併せて事前確認しておく心安い。BSP銀行に口座のある人はデビット払いも可能。

またコロナ禍のパンデミックにより、宿泊施設は大きなダメージを受け、閉鎖や営業時間の変更を余儀なくされたところもあるので、事前に予約するか営業時間を確認してから行くこと。

アピア中心の時計台の近くにあるサモア観光省のビジターセンター「Beautiful Samoa (<https://www.samoa.travel/>)」では、簡易的な地図や資料の他、各ホテルや観光省でのWeeklyイベントプラン（予約電話番号付）をもらえ、観光プランの相談にも乗ってもらえる。

また、ビジターセンター裏のファレでは、カルチャーショーを毎週火～金曜日の10時30分～開催しているので、そこでサモア文化に触れることもできる。

★は、サモア独立国の独自のレーティング評価であり、必ずしも国際基準と合致しているわけではない。定評のある高級リゾート等でも★無しのところもあるので、参考程度に。

### ●アピア市内のデラックスまたは大型ホテル

#### タウメシーナ・アイランド・リゾート

★★★★☆ 4.5

Taumeasina Island Resort

Tel: 61000 / 7242407

E-mail: [resteam@taumeasinainislandresortsamoa.com](mailto:resteam@taumeasinainislandresortsamoa.com)

Url: <https://www.taumeasinainislandresortsamoa.com/>

アピアから車で10分ほどの出島に位置する唯一のアイランド・リゾートホテル。比較的新しく豪華な雰囲気。太平洋とウポル島の山を360度で望める敷地は6万平米。ホテル内の80室と2～3ベッドルームの独立した建物のヴィラもあり、数軒のレストランとバー、イベントホール、宴会場、SPA&フィットネス、プールを完備、幅広いアクティビティが可能。

### シェラトン・サモア・アギー・グレイホテル& バンガローズ ★★★3

Sheraton Samoa Aggie Grey's Hotel & Bungalows

Tel: 22880

E-mail: [aggiegreys@samoa.ws](mailto:aggiegreys@samoa.ws)

[aggiegreys@aggiegreys.ws](mailto:aggiegreys@aggiegreys.ws)

Url: <http://www.aggiegreys.com>

2016年に新装オープンした著名人が宿泊する伝説のホテル。ビーチ・ロードに面しており買物にも便利で、アピア湾を見下ろす部屋からの眺めは最高。各種の部屋があり、映画スターの名前のついたファレもある。隣にカジノがある。2024年現在は改装中。



### タノア・ツシタラ・ホテル ★★★★4

Tanoa Tusitala Hotel

Tel: 21122

E-mail: [tusitala@tanoahotels.com](mailto:tusitala@tanoahotels.com)

[gm.tth@tanoahotels.com](mailto:gm.tth@tanoahotels.com)

Url: <https://www.tanoatusitala.com/>

サモアを代表する伝統的なホテル。海の前でありアピア中心部にも近い。6ヘクタールのトロピカル・ガーデン、カンファレンス・センター、宴会場、ギフトショップ、レストラン、バー、ATM、プール、テニスコートなどを備え、カルチャーショー（要予約）も行われ、ツアーデスクもある。ビジネス、家族やカップルでのホ

リデーに最適。ホテルの敷地内では伝統的なファレを見ることができ、部屋もバスタブ、エアコン完備。

### ラヴァ・ホテル・アピア ★★★★★4

Lava Hotel Apia

Tel: 8445282

E-mail: [reservations@lavahotel.ws](mailto:reservations@lavahotel.ws)

[sales@lavahotel.ws](mailto:sales@lavahotel.ws)

Url: <http://www.lavahotel.ws/>

アピア左側に突き出るムリヌウ半島入口にある、新しいエコシステムのホテル。

カンファレンス・センター／宴会場、レストラン、バー、フィットネス、プール、ツアーデスク、24時間のレセプション、エアコンや無料駐車場完備。



### ホテル・インセル・フェーマルン ★★★★★3

Hotel Insel Fehmarn

Tel: 23301 / Fax: 22204

E-mail: [reservations@inselfehmarn.ws](mailto:reservations@inselfehmarn.ws)

[adele@inselfehmarn.ws](mailto:adele@inselfehmarn.ws)

Url: <http://www.inselfehmarnsamoa.com/>

アピア中心を走るビーチ・ロードからクロスアイランド・ロードを曲がって車で7分ほど。小高い所にあるため海と星空がきれい。ドイツ系家族が経営する3階建てのホテルで、プール、テニスコート、レストラン、

2つのカンファレンスルーム、ギフトショップ等の施設が充実。部屋はキッチン付きで庭に面している。庭はラグビー場大の芝生で、毎朝散歩する人が多い。ホテル目の前には有名なビザ屋ジョルダノズがある。

### ●スタンダード・ホテル

#### アマナキ・ホテル ★★★3

Amanaki Hotel

Tel: 27889

E-mail: [contact@amanakihotel.com](mailto:contact@amanakihotel.com)

Url: <http://www.amanakihotel.com/en/>

アピア湾から左側に突き出るムリヌウ半島に位置し、比較的新しいホテル。オーシャンビューの広々した20室、プール、レストラン、バーを完備。新鮮な魚を出すレストランは人気が高い。

#### ホテル・エリサ ★★★3

Hotel Elisa

Tel: 21116 / 31202

E-mail: [hotelelisa04@gmail.com](mailto:hotelelisa04@gmail.com)

Url: <http://www.hotelelisa.ws/>

2004年12月開業。ムリヌウ半島の中間ソギ (Sogi) 地区にあり、アピア中心部まで徒歩5分、海に面した便利な立地の3階建てホテル。22室がアピア港と山が



見えるエアコン付きの部屋でバルコニーから見る海の眺めは格別。その他14室のバジェットルームを備える。プールとBeachcomberというレストラン&バーがある。

#### ホテル・ミレニア ★★★3

Hotel Millenia

Tel: 28284/28286 / Fax: 28285

E-mail: [info@hotelmilleniasamoa.com](mailto:info@hotelmilleniasamoa.com)

Url: [https://www.google.com/travel/hotels/entity/Cgol77npu4KPr\\_0gEAE](https://www.google.com/travel/hotels/entity/Cgol77npu4KPr_0gEAE)

ムリヌウ半島の中にあり、海の眺めが素晴らしく日の出を部屋から見られる。アピア中心部へ徒歩8分ほど。プールとラウンジ、海沿いのバー&レストラン、2つのカンファレンスルーム、ギフトショップ、ファレの設備がある。



#### タウエーゼ・シービュー・ホテル

Tauese Seaview Hotel

Tel: 33310

E-mail: [taueseseaviewhotel@gmail.com](mailto:taueseseaviewhotel@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/taueseseaviewhotel>

ビーチ・ロード沿い、大聖堂横の川の向こう側。中華レストラン併設。

### タロファ・イン ★★★3

Talofa Inn

Tel: 28911 / 26612 / 25755

E-mail: talofainnsamoa@gmail.com

Url: <https://www.holidaysamoa.net/>

アピア中心部のビーチ・ロードの時計台から2ブロック。

### ヴァエア・ホテル ★★★3

Vaea Hotel

Tel: 22714

E-mail: [info@vaeahotel.com](mailto:info@vaeahotel.com)

Url: <https://www.facebook.com/vaeahotelsamoa>

ビーチ・ロードから車で5分ほど。

### エデンス・エッジ・ホテル ★★★3

Eden's Edge Hotel

Tel: 26202

E-mail: [edensedgesamoa@gmail.com](mailto:edensedgesamoa@gmail.com)

Url: <http://edensedgehotelsamoa.com/>

アピアの中心部。家族経営のホテル、エアコンとテレビ、電話のある12室あり。庭とプールもある。

### MKR サービスアパートメンツ

MKR Serviced Apartments

Tel: 26667 / 75522399

E-mail: [mkrservice@samoaoonline.ws](mailto:mkrservice@samoaoonline.ws)

[mkrservice@gmail.com](mailto:mkrservice@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/people/MKR-Serviced-Apartments/100066952876860/>

Fugaleiマーケット付近にあり、ビジネス用、休暇用の短期滞在、長期滞在にも最適なモダンな家具付きサービスアパートメント。

### モアトガ・ホテル ★★★3

Moatoga Hotel

Tel: 27001 / 24064

E-mail: [moatogahotel@gmail.com](mailto:moatogahotel@gmail.com)

Url: <https://moatogahotel.com/>

Fugaleiマーケット前。

### ザ・ホワイトハウス・ホテル

The White House Hotel

Tel: 7741881

E-mail: [admin@whitehousesamoa.com](mailto:admin@whitehousesamoa.com)

Url: [https://sites.google.com/view/the-white-house-hotel/home?utm\\_source=Google&utm\\_medium=Organic&utm\\_campaign=Organic+Link](https://sites.google.com/view/the-white-house-hotel/home?utm_source=Google&utm_medium=Organic&utm_campaign=Organic+Link)

Fugalei大通り沿い。

### タチアナ・モーテル・フガレイ

Tatiana Motel Fugalei

Tel: 21260 / 28738

E-mail: [tatiana.motel@lesamoa.net](mailto:tatiana.motel@lesamoa.net)

Url: <http://www.tatiana-motel.com/>

### ヴァレンタインズ・モーテル

Valentines Motel

Tel: 22158

E-mail: [valentinesamoa@gmail.com](mailto:valentinesamoa@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/ValentinesMotel>

### サモアン・アウトリガー・ホテル ★★★3

Samoan Outrigger Hotel

Tel: 20042

E-mail: [outrigger@samoa.ws](mailto:outrigger@samoa.ws)

[samoaooutrigger@gmail.com](mailto:samoaooutrigger@gmail.com)

Url: <https://thesamoanoutriggerhotel.com/>

海沿いのビーチ・ロードからクロスアイランド・ロードに曲がって車で5分ほど。人気のあるバジェットホテル。各種の部屋があり、シングル、ダブル、トリプルルー

ム、トイレ洗面所付きの部屋、トイレ洗面所共有タイプの部屋、エアコンと冷蔵庫、お茶の設備付きのタイプ、ガーデンファレからはプールが見える。2012年に改装。

### リンズ・ゲッタウェイ ★★★3

Lynn's Getaway

Tel: 20272

E-mail: lynns@lynnsgetaway.com

Url: <http://www.lynnsgetaway.com/>

アピア中心部から車で7~8分ほど、とてもアットホームでフレンドリー。各部屋エアコン付きでコーヒー／お茶とミルク、水が備わっている。宿が開催するツアーもある。プールやレンタカー、無料駐車場があり、スーパーとガソリンスタンド、有名なジョルダノーズ・ピザが近隣なので便利。

### トラベラーズ・ポイント・ホテル ★★★3

Travellers Point Hotel

Tel: 33001

E-mail: [stay@travellerspoint.com](mailto:stay@travellerspoint.com)

Url: <https://www.facebook.com/travellerspointhotelsamoa>

クロスアイランド・ロードからバイテル・ストリートに曲がってすぐに大通り沿いにある。目の前にコンビニとガソリンスタンドと病院がある。

### アレックス・ホテル ★★★3

Alec's Hotel

Tel: 28303

E-mail: [admin@alecshotel.com](mailto:admin@alecshotel.com)

Url: <https://alecshotel.com/>

医療ケアの受けられるホテル。トロピカ

ル・ガーデンとプール付き。25室のホテルとして2018年に開業し、その内8室は自己完結型のスタジオ式。観光客だけでなく、学生や医療関係者も視野に入れている。クロスアイランド・ロード沿いで、目の前にはジョルダノーズ・ピザがある。

### アニヴァズ・プレイス ★★2

Aniva's Place

Tel: 23431

E-mail: [stay@anivasplace.com](mailto:stay@anivasplace.com)

Url: <http://www.anivasaccommodationsamoa.com/>

アピア中心地から車で5~10分ほどのところにある9室のアットホームな評判のよいB&B。レストランや軽食、病院などが近隣にあり便利。

### タチアナ・モーター・タヌガマノノ

Tatiana Motel Tanugamanono

Tel: 28738

E-mail: [tatiana.motel@lesamoa.net](mailto:tatiana.motel@lesamoa.net)

Url: <http://www.tatiana-motel.com/>

### リビングストーン・アコモデーション

Livingstone Accomodation

Tel: 30350 / 7676093

E-mail: [info@livingstone.ws](mailto:info@livingstone.ws)  
[filifiliasua@gmail.com](mailto:filifiliasua@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/livingstoneaccommodation/>

### ティヴォリ・アパートホテル

Tivoli ApartHotel

Tel: 8424887

E-mail: [reservations@tivoliaparthotel.com](mailto:reservations@tivoliaparthotel.com)

Url: <https://www.tivoliaparthotelsamoa.com/en/>

クロスアイランド・ロード沿いにある。アピア中心地から車で7~8分ほど。プール付き。

### レ・アラモアナ・ホテル ★★★ 3

---

Le Alaimoana Hotel

Tel: 20392

E-mail: myroom@alaimoana.ws

Url: <http://www.alaimoana.ws/>

アピア公園に近い。

### サモアナ・ブティック・ホテル

---

Samoa Boutique Hotel

Tel: 31000

E-mail: info@samoanahotel.com

Url: <https://www.samoanahotel.com/en/>

アピア公園に近い。サービスアパートメント、プール、無料wifi、駐車場。

### オリヴィアズ・アコモデーション ★★★ 2

---

Olivia's Accomodation

Tel: 8427092

E-mail: samoa.olivia@gmail.com

Url: <https://www.booking.com/hotel/ws/olivias-accommodation.html>

アピア公園の横にある。家族経営のB&B。共同キッチン、テラス席がある。

### エテリネズ・ホームステイ (B&B)

---

Eteline's Homestay

Tel: 23744 / 7730160

Url: [https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel\\_Review-g312867-d8750456-Reviews-Eteline\\_s\\_Homestay-Upolu.html#MAPVIEW](https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel_Review-g312867-d8750456-Reviews-Eteline_s_Homestay-Upolu.html#MAPVIEW)

スポーツ・コンプレックスのあるアピア公園に近い。スーパーやベーカリーも近くにある。長期滞在希望の医大生やUNI学生は交渉可能。

### タウメシーナ・ハイダウェイ (B&B)

---

Taumesina Hideaway

Tel: 7589255

E-mail: taumeasina.hideaway@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/taumesinahideaway/>

### ジャカラнда・アコモデーション

---

Jacaranda Accomodation

Tel: 27095 / 8492770

E-mail: jacaranda\_accommodation@yahoo.com

パイプナ地区にあり、アピア公園、ビーチにもほど近い。UNESCOやFAO、UNDP事務所にも近いため、観光客のみならず、駐在員にも便利。

### サモアン・ヴィレッジ・ホステル ★★★ 2

---

Samoa Village Hostel

Tel: 7722232

### ヴァイアラ・ビーチ・コテージズ ★★★ 2

---

Vaiala Beach Cottages

Tel: 22202 / 20714

E-mail: info@vaialabeach.com  
ltaf008@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/Vaiala.Beach.Cottages>

ビーチ・ロード沿い、パロロ・ディーブに比較的近い。

### ウアレイ・ロッジ ★★★ 2

---

Ulaiei Lodge

Tel: 29913 / 76037010

E-mail: bookings@ulaleilodgesamoa.com  
atelynnwulf@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/ulaleilodgesamoa/>

ビーチ・ロード沿い、パロロ・ディーブの近く。

### サモア・ホリデー・ホテル

---

Samoa Holiday Hotel

Tel: 28016 / 28017

E-mail: hapisaloma@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/samoaholidayhotel>

アピア郊外、家族経営で、全てのユニットは、ミニキッチン、バスルーム、エアコン、TV、ダブルベッドがあり自己完結型。

### アピア・イン

---

Apia Inn

Tel: 7291783

E-mail: apiainnsamoa@gmail.com

Url: <https://www.apiainn.com/>

### タラノア・ファレス・アコモデーション

---

Talanoa Fales Accommodation

Tel: 21634 / 7222571

E-mail: talanoa.fale@lesamoa.net  
jacintav@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/TalanoaFales/>

### タギイリマ・ホテル ★★★3

---

Tagi I Lima Hotel

Tel: 21421

E-mail: enquiries@moanalisahotel.ws

Url: <https://www.moanalisahotelsamoa.com/>

バイテレ地区にある。近所には、スーパー、カフェ&バー、ハンバーガー屋さんなど。

### レ・リック・ハウジング・モーター

---

Le-Ric Housing Motel

Tel: 20260

E-mail: info@lerichousingmotel.ws

Url: <https://www.facebook.com/LeRicHousing/>

ステーキハウスでもあるらしい。

### リタズ・ロッジ

---

Rita's Lodge

Tel: 23117 / 7789849

E-mail: samoaritaslodge@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100064150628385>

### エンネス・ロッジ

---

Enne's Lodge

Tel: 7605596

E-mail: aopapa\_maiava@yahoo.com

Url: [https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel\\_Review-g312868-d3393398-Reviews-Ennes\\_Lodge-Apia\\_Upolu.html](https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel_Review-g312868-d3393398-Reviews-Ennes_Lodge-Apia_Upolu.html)

アピア郊外のVaitele地区、トゥアナイマト公園に近い。

### ヴィッキーズ・モーター

---

Vicky's Motel

Tel: 7770329 / 7624942

E-mail: info@vickys-motels.com

angelinefruean@yahoo.com  
vickysmotelsamoa@gmail.com  
vaioalolo@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/vickysmotelsamoa>

アピア郊外のVaitele地区にある。

### サモア・トラディッション・リゾート ★★★3

---

Samoa Tradition Resort

Tel: 25699 / 7771008

E-mail: book@traditionresort.com

Url: <http://www.traditionresort.com/>

アピア郊外のスポーツ・コンプレックスや乗馬クラブのあるトゥアナイマト公園に近い。

### レ・オーラ・イン

---

Le Aura Inn

Tel: 22221

E-mail: leaurainn@gmail.com  
leaura@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/LeAuraSamoa>

アピア郊外のスポーツ・コンプレックスや乗馬クラブのあるトゥアナイマト公園沿い。

## オラトール・ホテル

---

Orator Hotel

Tel: 29136

E-mail: cchanmow75@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/oratorhotel/>

アピア郊外のスポーツ・コンプレックスや乗馬クラブのあるトゥアナイマト公園に近い。

## ●ウボル島の西側・ファレオロ国際空港やマノノ島への船着き場近隣のホテル

## シェラトン・サモア・ビーチ・リゾート ★★★3

---

Sheraton Samoa Beach Resort

Tel: 8445611

E-mail: josephine.solomona@mariott.com  
appexyla.buhian@mariott.com

Url: <https://www.marriott.com/hotels/travel/apwgs-sheraton-samoa-beach-resort/>

ウボル島の西側、ファレオロ国際空港に近い。レストラン、バー、ギフトショップ、SPA、プール、カンファレンス・センター、チャペル、子供用プレイグラウンド、カルチャーショー、テニスコート、ゴルフコースなどのアクティビティも手配可能。



ネット検索でBooking.comから転用

## トランジット・モーター

---

Transit Motel

Tel: 45008

E-mail: transitmotelsamoa45008@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/transitmotel>

ファレオロ国際空港の近く。

## イフィーレエル・プランテーション

---

Ifiele'ele Plantation

Tel: 7251061

E-mail: unwind@ifieleele.com

Url: <http://www.ifieleele.com/>

ファレオロ国際空港に比較的近い。

## サモアン・ハイランド・リトリート

---

Samoa Highland Retreat

Tel: 7772917

E-mail: tim.walkdenbrown@gmail.com

Url: <http://samoanhighlandretreat.info/>

ウボル島北西部の高地にある。

## デイブ・パーカー・エコ・ロッジ

---

Dave Parker Eco Lodge

Tel: 8428899

E-mail: cloud9resort@samoa.ws

Url: <https://www.daveparkerecolodge.com/>

山の中、農場の横にある。見晴らしがいい。

## ST テレーズ・リトリート

---

ST Therese Retreat

Tel: 42412 / 7623915

E-mail: sttherese@gmail.com

sainttheresesamoa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/saintthereseretr eatandaccommodation>

ウボル島北西の海沿い。

### レ・ヴァサ・リゾート ★★★3

Le Vasa Resort

Tel: 460285

E-mail: soraya@levasaresort.com

Url: <http://www.levasaresort.com/>

ウボル島の西側、マノノ島への船着き場に近い。ドイツ人の経営。三角形の半島の立地を活かし、広々としたトロピカル・ガーデンを抜けると母屋があり、プールサイドのレストラン&バーは両側がビーチと海で、とても見晴らしがよく静かでくつろげる。



### ●ウボル島の南側のホテル

#### シナレイ・リーフ・リゾート&スパ ★★★★★4

Sinalei Reef Resort & SPA

Tel: 25191 / 30932

E-mail: [reservations@sinalei.com](mailto:reservations@sinalei.com)

[director@sinalei.com](mailto:director@sinalei.com)

Url: <http://www.sinalei.com/>

クロスアイランド通りを南下したウボル

島の南側に位置する。バリ風の庭園と白い砂浜ビーチ、玄関前にはミニゴルフコースがあり、バー、レストラン、カンファレンスルーム、ギフトショップ、SPA、プール、テニスコート、カルチャーショー、結婚式場設備、海辺の日没が見えるテラス席がある。ドイツ人の経営。マリン施設も整っているのでフィッシングボートも完備しているので魚釣りも可能。近くの海は珊瑚礁に近いためシュノーケリングに最適。海沿いのイタリアン料理は本格的。



#### ココナッツ・ビーチ・クラブ・リゾート

★★★★4

Coconuts Beach Club Resort

Tel: 24849

E-mail: [reservations@cbcsamoa.com](mailto:reservations@cbcsamoa.com)

[manager@cbcsamoa.com](mailto:manager@cbcsamoa.com)

Url: <http://www.cbcsamoa.com/>

クロスアイランド通りを南下したウボル

島の南側に位置する。サモアの文化にインスパイアされた施設、部屋はスタンダードからプライベートビーチ側のバンガロー、大きなバルコニーを持つ林のツリーハウスまで各種あるが、贅沢な作りは水上バンガローでサモア唯一、電話やテレビのない環境で、日の出と日没を見ることができる。サモアー美味しいと評判のレストラン、バー、ギフトショップ、プール、SPA、カルチャーショー、結婚式のコーディネートなど、結婚式や新婚旅行目的、サーフィンやダイビング、サモアのローカル文化を味わいたい人、砂浜ビーチを楽しみたい人にお勧め。



### サラニ・サーフ・リゾート

Salani Surf Resort

Tel: 7726162 / Fax: 41069

E-mail: salanisurfresort@hotmail.com

Url: <https://www.salanisurf.com/>

ウポル島の南東の海岸、ソパンガ滝への

分岐点を右折したところにある。バンガロー形式で8室。ボート3隻保有し、サーフガイドもいるのでサーファーがよく利用するが、サーフィンをしないう家族連れも歓迎すると書いてある。

### サレトガ・サンズ・リゾート&スパ ★★★★★

Saletoga Sands Resort SPA

Tel: 41212 / 41210

E-mail: [reservations@saletogasands.com](mailto:reservations@saletogasands.com)

[manager@saletogasands.com](mailto:manager@saletogasands.com)

Url: <http://www.saletogasands.com/>

ウポル島の南東部にある。

### アガ・リーフ・リゾート ★★★★★

Aga Reef Resort

Tel: 47800

E-mail: [reservations@agareefresort.com](mailto:reservations@agareefresort.com)

[office@agareefresort.com](mailto:office@agareefresort.com)

Url: <http://www.agareefresort.com/>

ウポル島の南東部にある。

### シーブリーズ・リゾート ★★★★★

Seabreeze Resort

Tel: 7797745 / 7748643

E-mail: [wendy@seabreezeresortsamoa.com](mailto:wendy@seabreezeresortsamoa.com)

Url: <http://www.seabreezesamoa.com/>

ウポル島の南東のビーチにある。人気の観光スポットのトスア・オーシャン・トレランチに近い。

### リターン・トゥ・パラダイス・リゾート&スパ ★★★★★

Return to Paradise Resort & SPA

Tel: 35055

E-mail: [reservations@returntoparadiseresort.com](mailto:reservations@returntoparadiseresort.com)

[info@returntoparadiseresort.com](mailto:info@returntoparadiseresort.com)

Url: <http://returntoparadiseresort.com/>

ウポル島の南西のビーチ沿い、メイン・サウス・コースト・ロードを海辺に下りた

ところ。1953年の映画「リターン・トゥ・パラダイス」の撮影の舞台で有名な白い砂浜のリゾート。広大な敷地に入る前にセキュリティゲートが2つあり、訪問客は受付で申告し、身分証明書と電話番号を提示し、ミニマムチャージを払う（30タラ／人）。複数のレストランとバー、ゲームルームやプール、ビーチ、カンファレンスルーム、ギフトショップ、フィットネス、ベビシッターサービス、カルチャーショー、結婚式設備もある。館内を利用してミニマムチャージを超えた利用料金があれば、超過料金を支払う。



### ヴァイ・ヴィラズ

Vai Villas

Tel: 7755747

E-mail: villaonwater@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/villaonwater>

ウポル島の南西のビーチ沿い。クロスアイランド・ロードを降りて右側。

### ファイマフィリ・ヴィレッジ・リゾート

★★★3

Faimafili Village Resort

Tel: 7535198

E-mail: [lemalu.siliva@gmail.com](mailto:lemalu.siliva@gmail.com)

Url: <https://faimafili-village-resort.business.site/>

白い砂浜上の20棟の伝統的なサモアン・ファレとプール沿いの4つのファレからなる。リターン・トゥ・パラダイス・ビーチに近い。

### ●ウポル島の北東側のホテル

### レ・ウアイナ・ビーチ・リゾート ★★★3

Le Uaina Beach Resort

Tel: 40270 / 40272

E-mail: [leuainabooking@gmail.com](mailto:leuainabooking@gmail.com)  
[schwartz.sjh@gmail.com](mailto:schwartz.sjh@gmail.com)

Url: <http://www.leuaina.com/>

ウポル島の北東部の海沿いにあるリゾート。ピウラ洞窟プールの隣にある。海に面したテラス席のレストランは気持ちよく、プールもあり、カヤックなどを貸してくれる。





## ●クロスアイランド・ロード付近、山や滝の近隣のホテル

### レ・マヌメア・ホテル

Le Manumea Hotel

Tel: 27755

E-mail: lemanumeahotel@gmail.com

Url: <https://www.lemanumeahotel.com/>

クロスアイランド・ロード沿いをVaea山に向かう途中の中腹にある。スティーブンソン博物館に近い。12室のスイートルームはエアコン付き、洗面所、ミニキッチン、



ミニ冷蔵庫、電子レンジ、TVとランドリーサービスあり。レストランでは、ヨーロッパ&サモアン料理を提供、プールサイドでバーも楽しめる。

### スカイビュー・ホテル・ティアパタ ★★★3

Skyview Hotel Tiapapata

Tel: 8436666

E-mail: skyview.hotel12@gmail.com

Url: [https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/Skyviewhotel7723333/)

[Skyviewhotel7723333/](https://www.facebook.com/Skyviewhotel7723333/)

ウポル島を南北に縦断するクロスアイランド・ロード沿い、山の中にある。スティーブンソン博物館を過ぎる。

### ザ・ウェル・ヴェニュー・スカイビュー・サモア

The Well Venue Skyview Samoa

Tel: 7288796 / 7622277

E-mail: madeleine.nansen@gmail.com

Url: [https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel\\_](https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel_Review-g312868-d9789399-Reviews-Skyview_Villas-Apia_Upolu.html)

[Review-g312868-d9789399-Reviews-](https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel_Review-g312868-d9789399-Reviews-Skyview_Villas-Apia_Upolu.html)

[Skyview\\_Villas-Apia\\_Upolu.html](https://www.tripadvisor.co.nz/Hotel_Review-g312868-d9789399-Reviews-Skyview_Villas-Apia_Upolu.html)

クロスアイランド・ロード沿いにある。

### フィアフィア・ファミリー・ロッジ

Fiafia Family Lodge

Tel: 30101

E-mail: fiafialodge@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/fiafia.family19>

### イポリート・アコモデーション

Ipolito's Accomodation

Tel: 25603 / 7739685

E-mail: ipolito.m@hotmail.com

## ●ファレ

サモアらしい体験として伝統的家屋であるファレの宿泊をお勧めする。ファレにも

いろいろな形態があり、観光客が宿泊するファレの殆どが浜辺に建つ伝統的なビーチ・ファレ（椰子の葉で葺いた屋根、柱と椰子の葉のブラインドだけある高床式の部屋）である。壁はなく、昼間は巻き上げてある椰子の葉のブラインドを夜は下ろし、蚊帳で覆ってあるマットレスの寝所で寝る。電気や水道も通っていないのでデジタル・デトックスをしながら南国の休暇を楽しみたい人へ。

その際、敷地内にある母屋の建物にレストランの設備があり、食事や飲食をしたり、共用のトイレ／シャワーを利用する。携帯電話の充電も母屋で依頼するとよいだろう。

料金形態はファレによって様々で、1泊3食、1泊2食、素泊まり等の料金区別がある。一般的にリゾートホテルよりもかなり



割安。中には、テント持込みOKでその使用料のみの所もある。母屋のレストランは、宿泊客以外の食事のみの客も受け入れる施設もある。但し、注意しなければならないことは、ファレの施設には限りがあり、グループで宿泊の場合、日本の宿泊施設のように各人均一な部屋が割り当てられることは難しい。トイレ、シャワーも共同利用でシャワーのお湯は期待できない。キャンプ用の電灯や懐中電灯を持参すると夜に重宝する。また内税が確認すると安心だ。

### タウファ・ビーチ・ファレ ★★2

Taufua Beach Fales

Tel: 8441051 / Fax: 25467

E-mail: [taufuabeach@gmail.com](mailto:taufuabeach@gmail.com)

Url: <https://www.taufuabeachfales.com/>

サモアで一番美しいといわれるラロマヌビーチで最大のファレ。13棟のファレと50人収容可能な食堂がある。食堂の海辺のデッキからの眺めは最高。レストランでの夕食はメニューも豊富で国際色豊か。土曜日はスタッフによるフィアフィアショーがある。マリナー道具も完備されている。

### リティア・シニ・ビーチ・リゾート ★★2

Litia Sini Beach Resort

Tel: 41050 / 7516700

E-mail: [litiasini2017@gmail.com](mailto:litiasini2017@gmail.com)

[reservations@litiasinibeach.ws](mailto:reservations@litiasinibeach.ws)

Url: <http://www.litiasinibeach.ws/>

ラロマヌビーチにあり、路線バスでラロマヌビーチに入り、最初に左に見えるファレ。16棟のクローズドファレと2つのオープンファレから成る青色のファレ。目の前

は珊瑚礁でシュノーケリングには絶好の場所。昼食はサンドイッチや果物程度だが、夜は種類も多くボリューム感あり。夕食のメニューもベジタリアンかどうかを質問する親切なファレで欧米人が多い。家族的な雰囲気トイレは道路を挟んで男子、女子2ヶ所、シャワーは5つある。

### アニタズ・ビーチ・ファレ

---

Anita's Beach Fales

Tel: 7288844

E-mail: anitabeachbungalow@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/anitasbeachfales/>

ラロマヌビーチにある。

### ジャイミー・ビーチ・ファレ

---

Jaymy Beach Fales

Tel: 7581109

E-mail: jaymybeachfales@gmail.com

Url: <http://jaymybeachfales.business.site/>

ウポル島の南東、メイン・サウス・コースト・ロードの海沿いのサレアバガ村にある。

### ファオファオ・ビーチ・ファレ ★★2

---

Faofao Beach Fales

Tel: 8441067

E-mail: faofoabeachfales@gmail.com

Url: <https://www.samoa.travel/plan-book/samoa-accommodation/faofao-beach-fales/>

ウポル島の南東、メイン・サウス・コースト・ロードの海沿いのサレアバガ村にある。

### マヌシア・ビーチ・ファレ

---

Manusina Beach Fales

Tel: 7765398

E-mail: manusinabeachfales@yahoo.com

Url: <http://www.manusinabeachfales.ws/>

ウポル島の南東、メイン・サウス・コース

ト・ロードの海沿いのサレアバガ村にある。

### ヴァイウラ・ビーチ・ファレ

---

Vaiula Beach Fales

Tel: 7792754

E-mail: vaiulabeachfales@gmail.com

Url: <http://www.vaiulabeachfales.com/>

ウポル島の南東のタファタファ・ビーチ近くにある。1993年設立。22棟のファレがあり、朝食／ディナー込み、共同バスルーム、サンドイッチやバーガーなどの軽食を出すカフェ&バーあり。シュノーケリング、サーフィンが追加料金でレンタル可能、テント持参の宿泊が一番安い。

### モエガアマナイナ・ビーチ・ファレ

---

Moegaamanaia Beach Fales

Tel: 7602564

E-mail: mambeachfale@gmail.com

Url: [https://www.instagram.com/moegaamanaia\\_beach\\_fales/](https://www.instagram.com/moegaamanaia_beach_fales/)

ウポル島の南東部タファタファ・ビーチ近くにある。

### マタレバ・ビーチ・ファレ

---

Matareva Beach Fales

Tel: 7652994

E-mail: info@matarevabeachfales.com

Url: <https://www.matarevabeachfales.com/>

ウポル島の南西部、リターン・トゥ・パラダイス・ビーチや美しいビーチのあるサラムム村に近い。

## レストラン

サモアのレストランのほとんどは、基本的に日曜日定休だが、一部オープンしている所もある。大手ホテル内のレストランは営業している。

アピアでは、レストランやカフェがかなり増えたが、カフェは午後早い時間に閉まる所が多いので注意。大人数の利用の場合は早めの予約を入れた方が確実。また、アピア市外に出かけると、カフェやレストランは少なく、飲食できる場所はホテル内のレストランや大きなファレに限られる。ATMも少なくなるので、ある程度の現金は持参すること。

### ●アピア市内

#### タマリンド・レストラン

Tamarind Restaurant

Tel: 21122

E-mail: tusitala@tanoahotels.com  
gm.tth@tanoahotels.com

Url: <https://www.tanoatusitala.com/>

定評ある4つ星タノア・ツシタラ・ホテル内のレストランで、プールサイドから庭が広がるオープンな空間にある。ギフト



ショップ横にATMもある。

#### タウメシーナ・アイランド・リゾート・レストラン

Taumesina Island Resort Restaurants

Tel: 61000

E-mail: [Info@taumeasinainislandresortsamoa.com](mailto:Info@taumeasinainislandresortsamoa.com)

Url: <https://www.taumeasinainislandresortsamoa.com/dining-in-samoa>

タウメシーナ・アイランド・リゾート内にはレストラン3店とバー2店がある。

海や夕陽を眺めながら文化的にゆっくりと食事をするならSina's Restaurant、毎晩のライブのエンタメや季節ごとのメニューを楽しむならLapita's Restaurantへ、親密な人と静かに楽しむならオーシャンビュー個室バルコニーカウオーターフロント・ヴィラへ。サンセット・バーでカクテルを飲みながら日没を眺めたり、マヌ・ワインバーでくつろぐこともできる。



#### セイルズ・バー&レストラン

Sails Bar & Restaurant

Tel: 20628 / 7571234

E-mail: [info@sails.ws](mailto:info@sails.ws)

Url: <https://www.facebook.com/sailssamoa/>

1996年にオープンした有名なレストラン。アピア中心から車で5分のムリヌウ岬の先端に移った。海の前非常に開放感のある建物。オーストラリア人の経営。メ

ニューはステーキ、パスタ、サラダ、シーフードなど。木曜日にはフィアフィアショーが至近距離で見られる。月～土曜日は10時～22時、日曜日は16時～22時。



### パドルズ・レストラン

Paddles Restaurant

Tel: 21819

E-mail: rossi-wall@hotmail.com

ビーチ・ロード沿いのアピア湾を見下ろすロケーション。イタリア人の経営で大人気。ローカル、イタリアン／地中海、ヨーロッパ、シーフードのレストラン。バーで出すアルコール類の種類も多い。月～土曜日の17時～22時の営業。



### ビストロ・タタウ

Bistro Tatau

Tel: 22727

E-mail: enquiries@bistrotatau.ws

アピアのToyota前にある。オーストラリア人の経営。西洋／地中海料理とオーストラリア料理のエレメントを新鮮な素材と新しい風味が楽しめる。メニューは定期的に変更され、ベジタリアンやグルテンフリーにも対応。着席で48名、カクテルで100名まで収容可能。最近、36人まで着席可能な個室もオープン。ワインの種類も多く、客席から見えるオープンキッチンが好評。ケータリング可。ランチ（月～金曜日の12時～14時）とディナー（月～土曜日の18時～23時30分）。



### ジョルダノズ・ピッツェリア&ガーデン・レストラン

Giordano's Pizzeria & Garden Restaurant

Tel: 25985

E-mail: gastanley@samoaoonline.ws

サモアでは珍しく日曜日にも営業、クロスアイランド・ロード沿いの有名で大人気の一軒家イタリアン・レストラン。ホテル・インセル・ファーマルン・ホテルの向かい



で、路線バス（Motootua）が国立病院を  
経由し、店の前で止まる。本格的な焼きた  
てピザや、アルデンテで茹でられたパスタ  
を堪能できる。ワインの種類も豊富。従業  
員のサービスも良く、値段もリーズナブル。  
日曜日は混み合う。月曜日定休。

### スカリーニズ・レストラン

Scalini's Restaurant

Tel: 36720

E-mail: joe@scalinissamoa.com

Url: <http://www.scalinissamoa.com/>

クロスアイランド・ロード沿い。ジョル  
ダーノズ・ピッツァとザ・サモアン・アウ  
トリガーホテルの間にある。定評のある美  
味しいイタリアンで、サンドイッチやス  
イーツも楽しめえる。ディナーは月～土曜  
日の18時～23時、ランチは月～金曜日  
の12時～14時30分、日曜祝日は閉店。



### アマナキ・レストラン

Amanaki Restaurant

Tel: 27889

E-mail: [contact@amanakihotel.com](mailto:contact@amanakihotel.com)

Url: <http://www.amanakihotel.com/>

3つ星のアマナキ・ホテル内にあるレス  
トラン。魚釣り用のボートを保有していて、  
釣りたての鮮魚の提供で人気。ベジタリア

ンや子供にも対応可能、ポケ丼も美味しい。  
月～土曜日は7時30分～21時30分まで、  
日曜日は7時30分～10時30分と16時  
30分～21時30分まで営業。



### ロコズ・レストラン

Roko's Restaurant

Tel: 20992

E-mail: [rokosrestaurant@gmail.com](mailto:rokosrestaurant@gmail.com)

アピア湾からIfifi通りを山の方へ向い、  
国立病院の手前にあるレストラン。店内の  
周囲は木々に覆われ山中の森の中のテラス



のような空間に、テーブルが10数席ほど。日中は眼下に森林を覗け、夜は満天の星を眺めることができる。イタリアンにシーフードから肉料理までメニューも豊富でリーズナブル。色んなメニューを注文して仲間とシェアするのも楽しい。席が少なく人気もあるため要予約。ケータリングもOK。月～土曜日の10時～22時に営業。日曜日閉店。

### インセル・フェマルン・ホテル

Insel Fehmarn Hotel

Tel: 23301

E-mail: reservations@inselfehmarn.ws  
adele@inselfehmarn.ws

Url: <http://www.inselfehmarnsamoa.com/>

老舗の3つ星のホテル内のレストラン。日曜日にはサンデーブッフェが利用可能で、BBQ他ローカル料理、サラダとデザートまでカバーしている。



### アピア・ヨット・クラブ・バー&レストラン

Apia Yacht Club Bar & Restaurant

Tel: 21313 / 7529437

E-mail: aycsamoa@gmail.com

Sogi半島の先端近く、国会議事堂や裁判所の先にあり、右側にヨットが浮かんでいるのが見える。海辺のデッキでの食事や

バーで飲むのは気持ちよい。2024年2月現在、再開店準備中。

### ココバナナ・バー&グリル

Kokobanana Bar & Grill

Tel: 26880 / 26875

E-mail: thirzamoors@gmail.com  
kokobananasamoa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/kokobanana.bar.grill/>

Ififi通りをモトトツア病院のところまでクロスアイランド・ロード方面に曲がった所にある。月～土曜日の17時～22時。

### ウィスク・ダイニング・ルーム

The Whisk Dining Room

Tel: 7629300 / 7728373

E-mail: thewhiskdiningroom@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/whiskpopup/>

Lotopaロード沿いの家族経営のレストラン。地元の新鮮な食材の料理の提供を心掛け、サモア料理と最近の料理をブレンド。

### イジーズ

Izzy's

Tel: 34047

Url: <https://www.facebook.com/lzzyzys-176758085797057/>

アピア中心部、NZ航空の斜め前にある。



月～金曜日の7時30分～16時、土曜日7時30分～14時30分、日曜日閉店。

### パルサミ・レストラン

Palusami Restaurant

Tel: 7718104

E-mail: palusamirestaurant@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/palusamirestaurantbar/>

Vaitele地区。月～金曜日の10時30分～14時30分、17時30分～21時30分。

### イタリアーノズ・ピッツェリア

Italiano's Pizzeria

Tel: 24330

ビーチ・ロード沿いにあるピザ屋。サイズはS・M・Lの3種類。Mサイズとコーラの組み合わせが一般的だが、Sサイズをいくつかのメニューで分けることも可能。Lサイズは食べきれないほど大きいので要注意。余ったらテイクアウトもできる。



### ティファイモアナ・インディアン・レストラン

Tifaimoana Indian Restaurant

Tel: 29604

E-mail: [reservations@returntoparadiseresort.com](mailto:reservations@returntoparadiseresort.com)  
[info@returntoparadiseresort.com](mailto:info@returntoparadiseresort.com)

Url: <http://returntoparadiseresort.com/>

Fugalei通りのFugaleiマーケットの先

にある。月～土曜日の11時～15時、17時～22時。日曜日閉店。

### ザ・カレー・ハウス

The Curry House

Tel: 8444301

E-mail: [ali.sabreen158@gmail.com](mailto:ali.sabreen158@gmail.com)

Url: <https://the-curry-house-restaurant.business.site/>

クロスアイランド・ロード沿いの山の中腹にある。2005年に創業のサモアで最初のインド・レストランでインド人経営。伝統的なものからモダンなものまで幅広い種類の本格派インド料理を提供。野菜やハーブは地元産を使用。ベジタリアン・メニューもあり、ヴィーガンやハラールにも対応可能。辛さのレベルはお好みで。ケータリング、カクテルやbuffetも可能。レストラン内は50～60席、テイクアウトもOK。月～金曜日は正午～22時まで、土曜日は16時～22時まで、日曜日閉店。



### トレジャー・ガーデン

Treasure Garden

Tel: 22586

Savalalo地区にある中華レストラン。一見、日本のパチンコ店を思わせる豪華な

作り。個人用の円卓テーブルの他に個室宴会場もある。

### サンライズ・レストラン

Sunrise Restaurant

Tel: 24056

市内から徒歩で7～8分。店内はちょっと暗い感じの雰囲気だが味は抜群。スパイシーチキンは特に美味。炒飯やスープは一人では食べ切れないほどボリューム満点。個人で行くより何人かのグループで行くことをお勧めする。

## ファースト・フード

### マクドナルド

McDonald's

Tel: 21247

E-mail: mcdsamoa@ipasifika.net

Url: <http://www.mcaiga.com/?fbclid=IwAR10g0jtsn7qiDIZWp2VwToChYM9g06P9GXM0NMvPrmFwoClx4eJfIveMKY>

アピア中心地の時計台のすぐ裏に1軒だけある。ドライブスルーも可能。

月～木曜日は7時～23時、金～土曜日は7時～25時、日曜日は8時～11時の営業。



DMCバーガー、Mr. Chicken、Burger Billsなどが、アピア中心地や、Fugalei通り、Vaitele地区、サバイイ島のフェリー乗り場など、複数店舗ある。



## カフェ

### ミラニ・カフェ・サモア

Milani Caffe Samoa

Tel: 20584

E-mail: [rossi-wall@hotmail.com](mailto:rossi-wall@hotmail.com)

Url: <https://milani-caffe.business.site/>

Paddleレストランの姉妹店で朝食とラ

ランチをカバーしている。アピア市時計塔から1ブロック。窓が大きく光が差し込むクリーンな店内、ポークベリー丼やサンドイッチなどが美味しい。スイーツもショーケースに揃う。月～金曜日の7時～15時、土曜日7時～13時、日曜日閉店。



## ノーリッシュ・カフェ

Nourish Cafe

Tel: 8400602

E-mail: nourishcafesamoa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/NourishCafeSamoa/>

ビーチ・ロードの大聖堂の裏側から橋を渡ったところにある。エキゾチックな雰囲気の中で、メキシカンやタイカレーなどエスニック料理もカバー。レモンジュースが美味しい。朝食とランチ：月～金曜日の7時30分～15時、土曜日8時～14時、日曜日9時～14時。ディナー：金～日曜日18時～22時。

## コーヒー・ロースター・サモア

Coffee Roaster Samoa

Tel: 7588246

E-mail: roastersamoa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/coffeeroastersamoa/>

大聖堂の裏の道を山の方へAtenae通り沿い。コーヒーが美味しく、食事もできる。2階は落ち着ける空間。月～日曜日の6時～13時30分の営業。



## クラッシュ・ジュース・ラウンジ

Krush Juice Lounge

Tel: 27874

E-mail: hnh@ipasifika.net

Url: <https://www.facebook.com/KrushJuiceLounge/>

新鮮なジュース、スムージー、ヴィーガン・ピッツァ、麺類、米粉のロール、お寿司、パニーニ、バーガー、ラップサンドなど。肉類、乳製品、卵を不使用。テイクアウト可能なので、セルフの器の持参をお勧め。コーヒー・ロースターと同じ建物。月～金曜日は8時～16時、土曜日は8時～14時。



### オール・スィングズ・スイーツ・サモア

All Things Sweet Samoa

Tel: 7582299

E-mail: allthingsweetsamoa@gmail.com

Url: [https://www.facebook.com/pg/All-Things-Sweet-Samoa-1774755059415582/community/?ref=page\\_internal](https://www.facebook.com/pg/All-Things-Sweet-Samoa-1774755059415582/community/?ref=page_internal)

Fugalei通りの食品市場の少し手前にある。パースデーケーキ、カットケーキ、カップケーキ、エスプレッソ、ジュース、スムージー、アイ스티ーなど。朝食は13時まで、ランチメニューは11時からスタート



する。火～金曜日は7時～14時、土曜日は7時～13時、日・月曜日は閉店。

### エンツ・サーフ・シップ・カフェ

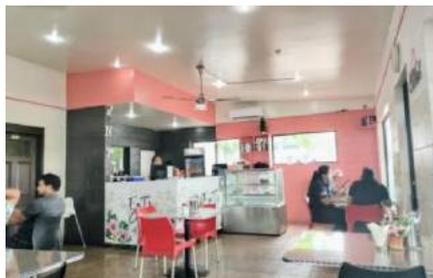
Ent's Surf Sip Cafe

Tel: 23337

E-mail: [entscafe@gmail.com](mailto:entscafe@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/EnTsCafe/>

Fugalei通りの食品市場の少し手前にある。ビーフスープが特に人気でリーズナブル。濃厚なチョコレートケーキも美味しい。月～金曜日は8時～15時、土曜日は8時～14時、日曜日閉店。



## カフェ 10

Cafe10

Tel: 28278

E-mail: cafe10.smiles@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/Cafe10smiles/>

Lotopaロード沿い、彫刻などがならぶ店の奥側がカフェになっている。月～土曜日は7時～14時30分、日曜日閉店。



## パシフィック・ジュエル・ガーデン・カフェ

Pacific Jewell Garden Cafe

Tel: 32888

E-mail: pacificjewell@gmail.com

Url: <https://www.pacificjewellsamoa.com/garden-cafe>

アピア公園の横、ギフトショップとガーデン・カフェ。月～金曜日の7時30分～16時30分、土曜日は7時30分～14時、日曜日閉店。

## ママ・ジェーンズ

Mama Jane's

Tel: 24758

Url: <https://www.facebook.com/Mamajanescafe/>

Iffi通りをモトトゥア病院のところでクロスアイランド・ロード方面に曲がった所にある。月～土曜日は7時～14時。

## ル・プチ・カフェ

Le Petit Cafe

Tel: 7502540

E-mail: info@mailelani\_samoa.com

Url: <https://www.facebook.com/lepetitcafesamoa/>

クレープやワッフルなどは高いレビューを貰っている。臨時休業中。月～金曜日は8時30分～14時。

## フォレスト・カフェ

Forest Cafe

Tel: 7527945 / 7755101

E-mail: forestcafesamoa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/forestcafesamoa/>

クロスアイランド・ロードから山中に少し入ったところにあり、見つけるのは簡単ではない。森と川を眺め、鳥のさえずりや滝の音を聞きながら、コーヒーやデザート、ランチを楽しめる。グループでの予約も可。

## バー

## エッジ・カクテル・ラウンジ

The Edge Cocktail Lounge

Tel: 27979

E-mail: office@theedgemarinaview.com

Url: <http://theedgemarina.com/>

アピア湾に浮かぶクルーザーやヨットを



眺めながらカクテルを飲むのは醍醐味の一つ。ハッピーアワーには数種類のカクテルが割安に。バーガー、サンドイッチ、シーフードなど食事も可能。月・火曜日は8時～24時、水～金曜日は8時～25時、土曜日は8時～24時、日曜日閉店。

## ●ウポル島

### ミカズ レストラン

Mika's Restaurant - Coconuts Beach Club & Resort  
Tel: 24849  
E-mail: reservations@cbcsamoa.com  
Url: <https://cbcsamoa.com/tropical-dining/>

ウポル島の南側にある4つ星ホテルコナッツ・ビーチ・クラブ&リゾート内にあるレストラン。かつてハワイの人気レストランを複数経営していたMike Pirics氏をパートナーに迎え、地元の新鮮な食材を使用と料理の説明で、数々の旅行ガイドでサモア美味しいとの評価を受けている。眺めも美しい。

### ザ・ビーチ・ビストロ&ティキ・バー

The Beach Bistro & Tiki Bar - Sa'Moana Resort  
Tel: 28880 / 7672843 / 7574998  
E-mail: info@samoanaresort.com  
Url: <http://www.samoanaresort.com/>

ウポル島の南側にあるサモアナ・リゾート内にあるレストラン。新鮮でオーガニックな地元の食材を利用、サモア料理と家庭料理、肉や魚、野菜を地元のソースで提供。グルメ・ビーフ・バーガーは特にお勧め。ヴィーガン、ベジタリアン、グルテン・フリーにも対応可能。オリジナル・カクテル

やオーガニック・ジュースも揃えている。日中利用が特にお勧めで、最低25タラ/人。

### ウォーターフロント・レストラン&バー

Waterfront Restaurant & Bar  
Tel: 7770014 / 7748643  
E-mail: bookings@seabreezeresortsamoa.com  
Url: <https://seabreezesamoa.com/dining/waterfront-restaurant-and-bar/>

ウポル島南側の4つ星ホテル、シーブリーズ・リゾート内にあり、ラグーンや大洋、サーフィンや月を眺めながら、独立したパビリオン内で、朝食、ランチ、ディナーを利用できる。受賞した腕前のシェフがアラカルトで地元のシーフードや西洋料理で提供。アルコール飲料も多種類揃っている。毎日8時～21時まで、バーは22時に閉店。

### シーブリーズ・ピッツェリア

Cbreeza Pizzeria  
Tel: 7770014 / 7748643  
E-mail: bookings@seabreezeresortsamoa.com  
Url: <https://seabreezesamoa.com/dining/cbreeza-pizzeria-2/>

ウポル島南側の4つ星ホテル、シーブリーズ・リゾート内、小さな庭の中の伝統的な木造のピッツェリア。シーブリーズ・スペシャルは、薄手のクリスピー生地在地元のロブスターと地元の甘いバナナ、カリカリのベーコン、モッツアレラ・チーズに少々の特製風味で。土・日曜日の正午～16時。

## サウス・パシフィック・レストラン

South Pacific Restaurant

Tel: 45611

E-mail: [reservations.samoaresort@sheraton.com](mailto:reservations.samoaresort@sheraton.com)

Url: <https://www.marriott.com/hotels/hotel-information/restaurant/apwgs-sheraton-samoa-beach-resort/>

ファレオロ国際空港近くの、シェラトン・サモア・ビーチ・リゾート内にあるレストラン。オープンエア、地元と国際的な料理をビーチの目の前で、伝統的なサモアン・ミュージックも楽しめる。ディナー時の営業。

## ココリニス・バイ・シー(レ・ヴァサ・リゾート内)

Cocolini's by the Sea - Le Vasa Resort

Tel: 46028

E-mail: [sales@levasaresort.com](mailto:sales@levasaresort.com)

Url: <https://www.levasaresort.com/dining>

ウポル島ーマノノ島のフェリー乗り場 Manono-uta に比較的近いに3つ星ホテル、レ・ヴァサ・リゾート内のレストラン。海の目の前にある伝統的なオープンエアのサモア・スタイル・レストラン(むき出しの梁、かやぶき屋根、手掘りの丸太)にて、南太平洋／地中海料理を飛び切り新鮮なシーフードと地元の食材で提供。隣接するバーのThe Ugly Mermaid Barはオーシャンビュー、プールサイドでお気に入りのカクテルを飲みながら、屋外での軽食やワインを楽しめる空間。

## リターン・トゥ・パラダイス・リゾート&スパ

Return to Paradise Resort & SPA

Tel: 35055

E-mail: [reservations@returntoparadiseresort.com](mailto:reservations@returntoparadiseresort.com)  
[info@returntoparadiseresort.com](mailto:info@returntoparadiseresort.com)

Url: <http://returntoparadiseresort.com/>

リターン・トゥ・パラダイス・リゾート内にあるレストラン。敷地に入る前にセキュリティゲートが2つあり、訪問客は受付で申告、身分証明書と電話番号を提示し、ミニマムチャージを払う(現行30タラ／人)。複数のレストランとバーがある。飲食施設を利用してミニマムチャージを超えた利用料金があれば、超過料金分を支払う。

## アヴァ・イ・トガ・レストラン

Ava I Toga Restaurant - Sinalei Reef Resort & SPA

Tel: 25191

E-mail: [reservations@sinalei.com](mailto:reservations@sinalei.com)

Url: <https://sinalei.com/experience/cuisine-and-dining/ava-i-toga-restaurant/>

ウポル島南の4つ星ホテル、シナレイ・リーフ・リゾート&スパの中にある水上レストラン。新鮮なシーフードと南太平洋のオーガニック料理を世界レベルのカクテルとワインと共に。特別な場合には、2つの水上ファレの個室がある。

木～火曜日はランチ12時～15時、ディナー18時～21時30分。

## ラウモソオイ・レストラン

Laumoso'oi Restaurant - Sinalei Reef Resort & SPA

Tel: 25191

E-mail: [reservations@sinalei.com](mailto:reservations@sinalei.com)

Url: <https://sinalei.com/experience/cuisine-and-dining/laumoso-i-restaurant/>

ウポル島南の4つ星ホテル、シナレイ・リーフ・リゾート&スパの中にある。毎日、朝食、フィアフィア・カルチャー・ショー、ランチの提供。

月～日曜日の7時～11時、正午～15時、18時～21時30分。

# サバイイ島



サバイイ島はサモア諸島最大の島であり、ニュージーランド、ハワイを除くポリネシア最大の島でもある。ウポル島から18kmの海峡を挟んだ西に位置し、島の内部は手付かずの原生林があり、活発な火山活動で流出した溶岩原が広がる。それだけに伝統的な生活様式が現在に引き継がれており、島を訪れる人々に深い印象を与えずにはおかない。

サバイイ島は面積1,700 km<sup>2</sup>で人口は約50,000人、ウポル島に比べて高い山が多く、海岸の起伏も激しい。島は東西に火山が連なっており、最高峰は標高1,858mのシリシリ山 (Mt. Silisili) で、ほかに1,000m級の山が5峰ある。島の北側には比較的新しい溶岩原があるが、これは1760年にアフィ山 (Mt. Afi) が噴火したもので、東側は1905年から11年にかけてのマタバナ山 (Mt. Matavanu) の噴火によるものである。



サバイイ島

## サバイイ島の一般事情

### ●ウボル島からの交通

#### ・空路

アピア郊外のファガリイ空港 (Fagaliii) とサバイイ島の東側のマオタ空港 (Maota) 間をポリネシア航空が毎日3便運航しており、飛行時間は30分ほど。ほかにサバイイ島の西側にあるアサウ空港 (Asau) にも1日1便運航している。

#### ・海路

ウボル島のファレオロ (Faleolo Wharf) とサバイイ島のサレロロガ (Sale-lologa Wharf) の間をサモア・ SHIPPING 会社 (Samoa Shipping Corporation) のフェリーが毎日複数便 (6時から、2時間おきに夕方まで) 往復運航している。月、水、木、金、土の各曜日は午前6時から午後4時の間、2時間おきに、火曜日は午前10時と午後2時、日曜日にも本数は減るが運航する。所要時間は、大きい方のフェリー Lady Samoa III (船名) で運航時間は約1時間、小さい方のフェリーで1時間30分。天候と波の状態によっては欠航もあるので切符を買う際には確認が必要。

旅行者のみならば、当日、出港する港の窓口で直接チケット購入も可能。大人10タラ、子供5タラ。車で渡航する場合は、直接会社に行き、チケットを事前に購入する。運転手込みで、中型車190タラ、小型車160タラ。

Url: <https://www.ssc.ws/>

Tel: 20935

Email: [info@ssc.ws](mailto:info@ssc.ws)

なお、市内のバスターミナルは、サレロロガ (Salelologa) の市場にある。



ファレオロ・ワーフ港

## サバイイ島の見どころ

### サレロロガ

Salelologa

フェリーの着く埠頭から10分ほどのところにあるサバイイ島の中心の町。マーケットや商店、銀行の支店があるが、アピアとは比べものにならないほど小さい。この町の北5kmには、1830年に争いの絶えなかったサバイイ島に平和をもたらしたキリスト教伝道師ジョン・ウィリアムズの上陸記念碑が建っている。

## メイン・ノース・コースト・ロード

### Main North Coast Road

サレロロガから北に向かって18kmにあるプアプア村 (Puapua) までは、素晴らしいビーチが続いている。さらに北に行くと海岸は荒々しい姿を表し、溶岩原が海にせり出している。溶岩原の南にある村がサマラエウル村で西がマウガ村である。そして、その先4kmほどにあるサレアウラ村まで溶岩原が広がっている。この溶岩原の外れに「処女の墓 (Virgin's Grave)」がある。村々が溶岩に飲み込まれ、教会の建物も破壊されたにもかかわらず、熱心な修道女たちが埋葬されている墓だけはそのまま残ったことから、土地の人はキリストの奇跡として語り伝えている。



溶岩原

## ウォーターランド・タータルズ

### Waterland Turtles

ファガマロ村の手前に、ウミガメと池で泳いだり、カヤックで大きな池を探検できるスポットがある。看板が立っているので、そこを左折する。軽食やドリンクも頼める。



Waterland Turtles 看板



ウミガメの群れ

## ファガマロ村

### Fagamalo

溶岩原を抜けると、ウインド・サーフィンのスポットとして知られるビーチがある。ファガマロからサシーナ (Sasina) まで、数キロに渡って美しい浜辺が続き、ハネムーンでよく利用されるル・ラゴト・ビーチ・リゾートとサバイイ・ラグーン・リゾートがここにある。さらにその先のマナセ村 (Manase) には料金が安いことで知られているタヌ・ビーチ・ファレ (Tanu Beach Fales) がある。

## ペアペア洞窟

### Pe'a pe'a Cave

1905年のMatavanu山の大噴火により形成されたそうだ。ノース・コースト・

ロード沿いにある。時間があるなら、自然の猛威の遺産を見学するのもよいのでは。毎日開いており、料金は大人10タラ／人、11才以下5タラ／人。



### メイン・サウス・コースト・ロード

Main South Coast Road

サレロロガから西に向かうとタファア半島があり、タファア雨林保護区になっている。この地区は、サモアでもっとも簡単に入っていける場所にあり、半島の先端は溶岩海岸になっている。海岸はピクニックエリアになっており、泳ぐことはできるが流れが早いことで知られている。半島を過ぎるとパラウリ村 (Palauli) に出る。ここから古代遺跡ストーン・ピラミッドが発見された。

メイン・サウス・コースト・ロードは、サレロロガからサバイイ島の西の山裾をまわってアサウ村まで約80km、北回りでも

ほぼ同じ距離である。

### アロファアガの潮吹き穴

Aloffaaga Blowholes

島の南側ほぼ中央にあるタガの海岸で見られる、サモアで最も印象的であり世界的に知られている自然現象である。黒い溶岩で被われた海岸の、波に侵食された穴に打ち寄せる大波が、岩の隙間から空に向かって数10mの豪快な水柱を立てる。入場料10タラ／人。



アロファアガの展望台



潮吹き穴

### ストーン・ピラミッド

Stone Pyramid [=Tia Seu Ancient Mound]

ポリネシア最大の9世紀頃の建造物で、縦50m、横61m、高さ12mの巨大な石造りの台形で、宗教的儀式に使われたらし

いが真相は解明されていない。さらに、ジャングルの中にあり、人目につき難い場所であることも謎を深めている。

しかし、ここは私有地の椰子のプランテーションの奥深くにあり、ジャングルに埋もれていて森林の一部と化しているので、ガイドなしではまず行きつけない。どうしてもという人は、入口にある家で入場料を払い許可をもらう。ガイドをつけて往復3時間程度。

### ラバース・リープ

Lovers Leap

「恋人たちの跳躍」と呼ばれる断崖絶壁は、潮吹き穴から北西に向かって26kmほどにあり、眼下に広がる美しい海に吸い込まれそうな錯覚に襲われる。名前の由来は、ツツイラ島（米領サモア）から来た女性がこの村の男を愛したが、男が死んだ後に村人からひどい仕打ちを受け、耐え切れなくなった女が娘を抱いてこの絶壁から飛び込んだ、という伝説によるものだ。そして伝説は、その2人はカメとサメになって、この海に戻ってきたと云う。サモアにはカメとサメにまつわる伝説がいくつもあって、そのひとつが「ラバース・リープ」なのだろう。日本の観光案内書には「恋人岬」となっているものもある。

### ムリヌウ岬

Cape Mulinu'u

サバイイ島の最西端にある岬。この岬のあるファレアルポ半島には多くの伝説が残されており、そのひとつが「モソの足跡」

(Moso's Footprint) であり、また「岩の家」(House of Rock) である。「モソの足跡」伝説は、フィジーから大男の軍神がやって来たときに付いたと云うものであり、フィジーのビチレブ島にも同じような足跡があると云う。

### アサウ村～バイサラ村～パバ村

Asau-Vaisala-Papa

約20kmに渡る溶岩原を超えて来る北回りと南回りのメイン・ロードが、ほぼ同じ距離で合流するのがサバイイ島の第2空港のあるアサウ村である。この空港は1990年の台風で破壊されたが、その後再建されている。アサウのすぐ西には、湖のように見える美しいバイサラ湾がある。さらに海沿いに本道を出たところには箱庭を見ようパバ村がある。

### ファレアルポ雨林保護区

Falealupo Rainforest Preserve & Canopy Walkway

サバイイ島北西端に広がる熱帯雨林の保



ファレアルポ雨林保護区

護区。同保護区内には、2本のバンヤン樹の巨木をつないで作られた30メートルにわたる吊り橋状の空中遊歩道が設置されている。地上40メートルの高さから見る眼下に広がる熱帯雨林をみるその景色は、まさに絶景。2024年2月現在、改修の為、臨時休業中。

### サバイイ島ホテル

#### レ・ラゴト・リゾート&スパ ★★★★★ 4

Le Lagoto Resort & SPA

Tel: 58189

E-mail: lelagotoreservations@samoa.ws

Url: <http://www.lilagoto.ws/>

サバイイ島の北側ノース・コースト・ロード沿い、マナセ海岸ビーチ・ファレの手前、Fagamalo村にある。白い砂浜のビーチが椰子の木と透明な水に縁どられ、10のバンガローと2室のファミリールームのホテル。部屋にはエアコン、テラス、ホットシャワー、ファン、テレビ、ソファ、冷蔵庫、電話、アイロン、コーヒーメーカーが備え付けられている。このホテルのレストランとテラスレストランからの眺めは最高。バー、レストラン、スパ、プール、コンビニ、カルチャーショー、結婚式の設備がある。



#### サバイイ・ラグーン・リゾート ★★★ 3

Sabaii Lagoon Resort

Tel: 54146

E-mail: [savaiilagoonresort@gmail.com](mailto:savaiilagoonresort@gmail.com)

Url: <http://www.savaiilagoon.co.nz/>

サバイイ島の北側ノース・コースト・ロード沿い、Le Lagoto Resortの隣にある。NZ人の経営で、新しく清潔。シンプルな造りながら、バンガローは砂浜ビーチの目の前にあり、ビーチチェア、ミニキッチン、冷蔵庫、エアコン、扇風機、室内のシャワールームの他に、入口のドア横にはシャワームもついている。バスタオルも2枚ずつあり、水道水もフィルターを通してしているので飲めるそうだ。



#### スティーブンソン・アット・マナセ ★★★ 3

Stevensons at Manase

Tel: 58219

E-mail: [gm@stevensonsresortsamoa.com](mailto:gm@stevensonsresortsamoa.com)

[sales@stevensonsresortsamoa.com](mailto:sales@stevensonsresortsamoa.com)

Url: <https://stevensonsresortsamoa.com/>

<https://www.facebook.com/stevensonsatmanase>

サバイイ島の北側ノース・コースト・ロード沿い、花で飾られたマナセ村のマナセ海岸にある道の両側にまたがる大きなリゾート。母屋はシマウマのような特徴的な白黒の装飾で、ビーチ前にプールがあり、プー

ルサイドで飲食ができる。

ホテル、ピラ、ファレ3つの部屋タイプがある。レストランやバーもすばらしく、金曜日と土曜日にはフィアフィアショーがある。宿泊客はホテル所有のアウトリガーにも乗ることができる。



### ベイビュー・リゾート ★★★3

Bayview Resort

Tel: 8454170 / 54161

E-mail: sesilia.bayviewresort@gmail.com  
elisapeta.bayview@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/BayviewResortSamoa/>

サバイイ島の北側ノース・コースト・ロード沿い。

### アモア・リゾート ★★★3

Amoa Resort

Tel: 53518

E-mail: info@amoaresort.com  
reservations@amoaresort.com

Url: <http://www.amoaresort.com/en/>

サバイイ島の有名リゾート。イタリア人の経営。東側のノース・コースト・ロード沿い、サレロロガ港から車で20分ほど。道の両側にまたがる広大な庭園の比較的新しいリゾートで設備も整っており、レスト

ランはイベントにも適した空間でメニューも充実。



### ジェット・オーバー・ホテル ★★★3

JET Over Hotel

Tel: 51565 / 51566

E-mail: [info@jetover.ws](mailto:info@jetover.ws)

Url: <https://jetoverhotel.ws/>

サバイイ島南東側のサレロロガ地区。サレロロガの町のショッピングモールの2階にある。サバイイ島では新しいモーター。バスターミナルにも近く便利。全室冷蔵庫、エアコン、台所が備え付けられている。

### ルイジラス・ラグーン・シャレー ★★★3

Luisia's Lagoon Chalets

Tel: 51487

E-mail: [lusiaslagoonchalets@gmail.com](mailto:lusiaslagoonchalets@gmail.com)

Url: <https://www.lusiaslagoon.com/>

サバイイ島南東側のサレロロガ地区。

### クキズ・バイ・ザ・ハーバー

Kuki's by the Harbour

Tel: 7558189

E-mail: [kukisbytheharbour@gmail.com](mailto:kukisbytheharbour@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/kukisbytheharbour/>

サバイイ島のサレロロガ埠頭から徒歩5分、2020年10月オープンのホテル。

### ヴァイモアナ・シーサイド・ロッジ ★★★3

Va-i-Moana Seaside Lodge

Tel: 58140

E-mail: [vaimoanalodge@gmail.com](mailto:vaimoanalodge@gmail.com)

Url: <http://www.vaimoanaseasidelodge.com/>

サバイイ島の北西側サウス・コースト・ロード沿い。

### ヴァイサラ・ホテル

Vaisala Hotel

Tel: [vaisalahotel@samoa.ws](mailto:vaisalahotel@samoa.ws)

E-mail: [vaimoanalodge@gmail.com](mailto:vaimoanalodge@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100089084349100>

サバイイ島の北西側サウス・コースト・ロードから海側に下る。このホテルのバーテラスから眺める海はサバイイ湾。海も遠浅で水泳、シュノーケリングに最適。サーファーにも人気がある。地球最後のサンセットポイントはホテルから近い。



バイサラ・ホテルのバーテラスから臨む太平洋

### サバイイ島ファレ

### タイルア・ビーチ・ファレ ★★★2

Tailua Beach Fales

Tel: 7208149 / 7653198 / 7268149

E-mail: [tailua.manase@gmail.com](mailto:tailua.manase@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/tailuas.manase>

### バケーション・ビーチ・ファレ ★★★3

Vacations Beach Fales

Tel: 54040 / 54024

E-mail: [sharonenos13@gmail.com](mailto:sharonenos13@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100067121844549>

サバイイ島ビーチの景勝地、マナセ海岸にある大規模なファレ。隣のファレにはダイビングショップも充実。このファレでの朝食、夕食は海に面したレストランで気分は最高。人の良い主人がお客様への挨拶に回る。日曜日のブランチは豪華、トーナイ（ウム料理）が自慢。干潮時にはサンゴの近くまで徒歩遊泳でき、大きな魚も見ることができる。

### レジナス・ビーチ・ファレ

Regina's Beach Fales

Tel: 7395080

E-mail: [jacinta.gaono@gmail.com](mailto:jacinta.gaono@gmail.com)

[randyvalelianosmith23@gmail.com](mailto:randyvalelianosmith23@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/reginabeachfales19>

### ジェーンズ・ビーチ・ファレ

Jane's Beach Fales

Tel: 54066

E-mail: [janesbeachfales1@gmail.com](mailto:janesbeachfales1@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/janesbeachfalesmanase>

### タヌ・ビーチ・ファレ

Tanu Beach Fales

Tel: 7772568

E-mail: [tanubeachfales@gmail.com](mailto:tanubeachfales@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/pages/Tanu-Beach-Fales-Manase-Samoa-/198527690217601>

マナセ海岸のビーチ・ファレの1つ。予算の限られている旅行者に向いている。

シャワーとトイレは共同で、食事もゲスト皆と一緒に食べる。ファレの数は30棟と規模も大きい。ファミリーで経営しており、リピーターが多い。ファレ所有のアウトリガーに乗ることもできる。土曜日にはフィアフィアショーが行われる。フィアフィアショーは30人ものスタッフ及び家族が工夫をこらして楽しませてくれる。サモアの大家族を思わせるファレ。港からはTanu Beach Faleバスを利用。

### ジョエラン・ビーチ・ファレ

Joelan Beach Fales

E-mail: joelanbeachfales@gmail.com

Url: <https://www.joelanbeachfales.ws/>

### レ・ロサロテ・ゲスト・ファレ

Le Rosalote Guest Fales

Tel: 53568 / 8453578

E-mail: lerosalote@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/lerosalote/>

サバライ島の東側のノース・コースト・ロード沿い。

### ラウイウラ・ビーチ・ファレ

Laiuilua Beach Fales

Tel: 53897 / 7759743

E-mail: laiuilabeachfales@gmail.com

Url: <http://www.laiuilabeachfales.com/>

サバライ島の東側のノース・コースト・ロード沿い。

### ファレアルポ・ビーチ・ファレ

Falealupo Beach Fales

Tel: 20181 / 7747426

E-mail: info@falealupobeachfales.ws  
taumalotolevi@gmail.com

Url: <https://www.falealupobeachfales.ws/>

サバライ島の最西端側のファリールポ・ロード沿い。

### シーティ・ビーチ・ファレ

Seeti Beach Fales

Tel: 7765342

E-mail: maneseumanutafa@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100070077031412>

サバライ島の最西端側のファリールポ・ロード沿い。

### フロレンスズ・プレイス

Florence's Place

Tel: 7736127

E-mail: kelvinbell2016@gmail.com

Url: <http://www.florencesplace.com/>

### サトゥイアトゥア・ビーチ・ファレ

Satuiatua Beach Fales

Tel: 8464119 / 7232693

E-mail: satuiatuabeachresort8464119@gmail.com  
senarapesamino@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100055390489039>

サバライ島の南西側のサウス・コースト・ロード沿い。老舗のファレだが、母屋は火災があり、最近立て直したので新しくきれい。水上のファレもある。ツリーハウスに登ってみるのもよいだろう。



### アガノア・ビーチ・ファレ

Aganoa Beach Fales

Tel: 50163

マオタ空港及びサレロロガ港から車で15分、サバイイ島の南にあるビーチ・ファレ。知る人ぞ知る隠れ家的な存在。男女トイレ、シャワーも完備、海辺に面した9つのビーチ・ファレがある。この近辺の海はサバイイ島でもサーフィンのできる波としても有名。近くの森は原生熱帯雨林の生い茂る保存地区。

## サバイイ島レストラン

### ヴァイリリ・レストラン

Vailili Restaurant - Le Lagoto Resort

Tel: 58189

E-mail: lelagoto@samoa.ws

Url: <https://www.lelogoto.ws/bar--restaurant.html>

4つ星のレ・ラゴト・リゾート内のレストラン。海の目の前のテラス席もある。ト



ロピカルな朝食、金曜日のブッフェとフィアフィア・ナイト、ハッピーアワー、日曜日のBBQナイト、ルームサービス、Leilina's Pizzeriaの提供も行っている。Hans Poolside Barもある。

### レイリナズ・ピッツェリア

Leilina's Pizzeria

Tel: 54454

Url: <https://www.facebook.com/pages/Leilinas-pizza-Fagamalo-Savaii/366934863375031>

レ・ラゴト・リゾートの目の前にあるシックな黒い建物。テイクアウトのみ。



### ベアーフット・バー&レストラン

Bearfoot Bar & Restaurant - Sabaii Lagoon Resort

Tel: 54146

E-mail: savailagoonresort@gmail.com

Url: <http://www.savailagoon.co.nz/>

3つ星ホテルのサバイイ・ラグーン・リゾート内のレストラン。満潮時には、テラス席が水上レストランになるほど海のすぐ脇にある。サバイイ牛肉のフィレのサンドイッチが赤身肉なのに柔らかくて、とても美味しい。特別ディナー・メニューが、毎日午後に黒板に記載される。



### アモア・リゾート・レストラン

Amoa Resort Restaurant

Tel: 53558 / 53518

E-mail: [reservations@amoaresort.com](mailto:reservations@amoaresort.com)

Url: <http://www.amoaresort.com/dining>

アモア・リゾートホテル内のレストラン。  
メニューにタコ焼きがある（タコが手に入らない時は提供されないが）。



### ヴァイモアナ・シーサイド・ロッジ・レストラン&バー

Va-I-Moana Seaside Lodge Restaurant & Bar

Tel: 58140

E-mail: [bookings@vaiamoanaseasidelodge.com](mailto:bookings@vaiamoanaseasidelodge.com)

Url: <https://www.vaimoanaseasidelodge.com/>

3つ星ホテルのヴァイモアナ・シーサイド・ロッジ内のレストラン。

### ネッタズ・ケーキ・ショップ

Netta's Cake Shop

Tel: 7645475

E-mail: [kev.hartin@gmail.com](mailto:kev.hartin@gmail.com)

Url: <https://www.facebook.com/TaefuStoreAsaga/>

### ビーチ・バー&レストラン

Beach Bar & Restaurant - Stevensons at Manase

Tel: 58219

E-mail: [info@stevensonsatmanase.com](mailto:info@stevensonsatmanase.com)

Url: <https://stevensonsresortsamoa.com/>

3つ星ホテルのスティーブソン・アット・マナセ内のレストラン。



## ●マノノ島

ウポル島から4kmのところにある小さな島マノノ島には、Manono-utaの港からボート／フェリーで20分、2社が運航している。島1周は2時間程で回れ、犬、車もなく、まさに環境を重視した島。干潮時にはフェリーが桟橋につけられないため浅い海を歩くこともある。

また近隣のLe Vasa Resortなどのリゾートホテルが、パッケージ・ツアー（180タラ）を提供している。



## ヴァオトゥウア・ビーチ・ファレ

Vaotuuu Beach Fale

Tel: 46077

ウポル島、Manono-utaの港からフェリーで20分、船着き場にあるファレ。ファレは海の上にてきており満潮時にはファレ

の階段を下りてそのまま海に入ることができる。ファレからは真夜中空港発着の飛行機を見ることもできる。ファレの主人は漁師で、時によっては新鮮な刺身を夕食に出すこともある。

## サンセット・ヴュー・ファレ

Sunset View Fales

Tel: 7596240 / 7753143

E-mail: sunsetview@lesamoa.net

## ●ナムア島

### ナムア・アイランド・ビーチ・ファレ

Namu'a Island Beach Fales

Tel: 7588209

E-mail: namuaislandbeachfales@gmail.com

Url: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100063763370317>

離島ナムアは、ウポル島の南東にあり、ボートで5分ほどの小さなプライベート・アイランド。ビーチの目の前にあるファレからの景色は抜群。Dayトリップのみ。



## サモア式伝統家屋・ファレ

首都アピアから少し離れると「ファレ」と呼ばれるサモア式の伝統家屋である「壁のない家」が目立つ。ファレはサモアでは家を総称しての言葉であるが、村の人々はこうした壁のない家で生活している。ファレは目的別に用途が決まっており、料理をするファレ、寝泊りをするファレ、会議を開くファレなど大小さまざまなファレがある。ファレに共通していることは、柱と屋根だけで壁がないということである。風雨の時には椰子の葉製のブラインドを降ろして凌ぐ。

また海岸線の村々には、ゲスト用のファレ（ビーチ・ファレ）が建てられている。村人と一緒に過ごし、ビーチで海水浴をし、夜は星を眺めながら床につく滞在は、ホームステイ感覚を味わえる。ただし、シャワーはタンクから引いた水で、トイレは使い勝手が大きく異なるなど、使用の際はそれなりの覚悟が必要であろう。20以上の村々にこうしたビーチ・ファレがあるので詳しくはアピアにあるサモア観光局に問い合わせたい。

白砂とヤシの木に囲まれた村のファレは自然に溶け込んでおり、南太平洋でもサモアだけに残る伝統文化の一つである。



アピア市内の政府機関が並ぶ一角にも赤い屋根が印象的なファレを目にすることができる。



白い砂浜に並ぶビーチ・ファレ。典型的なサモアの風景である。

# 関係先リスト

---

## 大使館

---

- 駐日サモア独立国大使館  
〒106-0041 港区麻布台3丁目5-7 麻布アメレックスビル5階  
Tel : 03-6228-3692
  - 在サモア日本国大使館  
Embassy of Japan  
S.N.P.F. Plaza B, 2F, Savalalo, Apia,  
Independent State of Samoa PO Box 1375  
Tel : +685-21187 Fax : +685-21196
- 

## 貿易・投資コンタクト先

---

- Ministry of Foreign Affairs & Trade Government of Samoa  
Level 3, FMFM11 Building, P.O.Box 1859, Apia, SAMOA  
Tel : +685-21171 / 25313  
Fax : +685-21504
  - Ministry of Commerce, Industry & Labour Government of Samoa  
P.O.Box 862, Apia, SAMOA  
Tel : +685-20441 / 20442 / 20443  
Email : mpal@mcil.gov.ws
- 

## 観光コンタクト先

---

- Samoa Tourism Authority Head Office サモア観光局  
P.O.Box 2272, Apia, SAMOA  
Tel : +685-63500  
Fax : +685 20886  
Email : info@samoa.travel  
Url : <https://www.samoa.travel/>
- Visitor Information Center ビジター情報センター  
Tel : +685-63521 / 63524
- ファレオロ国際空港内ビジター情報デスク  
Tel : +685-42099

編集協力および写真提供をいただいた方（敬称略）

**Special Thanks to**

- パシフィックインターナショナル株式会社
- 在サモア日本国大使館
- JICAサモア支所
- Samoa Tourism Authority
- Pacific Tourism Organisation (PTO)
- Samoa Scenic Tours and inbound Services

PICの著作物に関しては、無断での複写・複製・転載はお断りしています。  
さらに、転売・出品も禁止とさせていただきます。

## サモア

発行日：2024年3月

発行：国際機関 太平洋諸島センター（PIC）

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-22-14

明治大学 紫紺館1階

電話：03-5259-8419

URL：<https://pic.or.jp/>

Printed in Japan

SAMOA

